

令和3年度 事業報告

自 令和3年4月 1日

至 令和4年3月31日

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター

令和3年度事業報告

(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

公益財団法人とっとり県民活動活性化センター（以下、「センター」という。）は、ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動を総合的に支援し、NPO、行政、企業、大学、自治組織等多様な主体による連携・協働によって、地域課題の解決を図り、県民の社会参画機会の拡充と持続可能な地域社会づくりに寄与することを目的に、平成26年2月に鳥取県と県下19市町村の拠出により一般財団法人として設立され、8年が経過した（平成27年4月公益法人化）。

この間、東・中・西部の3ヶ所に県振興課と共同で運営する「とっとり創生支援センター」（平成27年4月設置）を拠点に、年間300件を超える個人・団体の相談を受け、ボランティア・地域づくり団体、NPO法人等の資金調達や人材育成、組織基盤強化等の支援を行うとともに、企業や専門家等と連携した多様な支援プログラムを開発・活用し、寄り添い型の伴走支援をすすめ、令和2年8月には、新型コロナウイルス感染症の拡大を受け、「コロナに負けない！地域づくり相談窓口」を設置し、NPO等の組織・事業の継続にむけた新たな支援活動に取り組んできた。

また、令和元年8月に立ち上げた「とっとりSDGs推進会議」（現「とっとりSDGsプラットフォーム」）や市町村と連携したNPO（地域づくり）交流会の開催等を通じて、多様な主体やNPO等^{※1}同士がつながる機会を広げ、「顔の見える関係」を「お互いを知り、ともに支えあう連携・協働のネットワーク」へと発展・深化させる歩みに寄り添ってきた。

このような8年間の活動により培った様々な支援の手法や、センターの職員が有するスキルやネットワークなどをセンターの支援メニューと複合的に組み合わせ、NPO等の抱える課題を総合的に解決するなどして、NPO等の活動を支援しながら、持続可能な社会づくりに向けた取り組みを推進していく。

※1 NPO等…NPO、ボランティア団体、地域づくり団体、公益法人、社会福祉法人、地縁組織等法人格の有無に関わらず非営利活動を行っている民間の団体、企業及びこれから新たに活動をしようとする団体

とっとり県民活動活性化センター「アクションプラン2021→2023」

とっとり県民活動活性化センターは、SDGsを指針に、県民の社会への参加・参画を促し、地域の課題解決や新たな価値創造をめざす団体を応援し、NPO、住民自治組織、企業、行政、大学・学校、地域・テーマ別の協議会や中間支援組織等、多様な主体がそれぞれ持っている強みや良さが最大限に生かされ、連携・協働によって「誰一人取り残さない」持続可能な地域社会づくりに寄与していく。

アクション1 【ひきだす】 県民の社会参加・参画機会の創出

・コロナに負けず、社会課題の解決や地域活性化・SDGs・地方創生に向け、県民の参加・参画の機会を広げる。

アクション2 【はぐくむ】 NPO等、地域コミュニティ、企業等の支援・連携

・NPO等の基盤強化、住民主体の地域コミュニティ形成支援、社会の課題解決に取り組む企業等との対話・連携をすすめる。

アクション3 【つなげる】 資源の仲介・マッチング、人財育成

・多様な主体との連携により、人財・資金等の資源の仲介・マッチングを行い、地域の公共人財を育成するための仕組みづくりを支援する。

アクション4 【ひろげる】 共感・響関によるネットワーク・協働

・課題解決や新たな価値創出に向けた多様な主体による連携・協働のプロジェクトを支え、SDGsの推進を図る。

アクション5 【ささえる】 センターの組織・事業基盤の構築

・ルールに基づく組織運営に習熟するとともに、新たなニーズや社会の変化に柔軟に対応できる組織・事業基盤を構築する。

＜令和3年度事業全体の成果＞

1. **新型コロナウイルス感染が広がる中、東・中・西部の拠点で、多様なアプローチによる相談活動をすすめ、支援対象や内容が広がった。**

東・中・西部の「とっとり創生支援センター」のほか「震災復興活動支援センター」、「コロナに負けない！地域づくり相談窓口」において、来所、訪問、電話、メール、オンライン等様々な方法で、NPO法人、一般社団法人、地域運営組織、自治会、市町村をはじめ広く県民の方からの相談を受けた（年間400件弱）。

また、税理士、社会保険労務士、ICT支援アドバイザー等の専門家や社会人・若者ボランティア（プロボノ）の参加による個別支援、活動団体や地域のネットワーク活動に寄り添いながら行う伴走型支援など、多様なアプローチによる相談活動を広げた。さらに、令和元年度に民間主導で立ち上げた「とっとりSDGs推進会議」（令和3年度から「とっとりSDGsプラットフォーム」に名称変更）や県とともに運営している「とっとりSDGsパートナー制度」、「とっとりSDGs伝道師制度」を通して、企業や学校等からの相談も受けることとなり、新たな連携の芽が生まれた。

2. **人材や資金を活動団体に循環させるしくみの活用が進んだ。**

「中国ろうきんNPO寄付システム」、「あいおいニッセイ同和損保助成プログラム」、「とっとりイーパートナーユースPC寄贈プログラム」、「とりぎん青い鳥基金」、「47コロナ基金とっとりつながる助成プロジェクト」及び「中国5県休眠預金等活用コンソーシアム事業」により、県民の地域活動への多様な参加を促し、企業をはじめ県内外の多様な主体と協働して、人材や資金を活動団体に循環させるしくみの運用が広がった。寄付つき商品の開発普及事業「お買い物チャリティー」は、令和3年度は初めて「夏のとっとり寄付つき商品キャンペーン」を実施するとともに、昨年引き続き「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」（11～12月）として集中的に取り組み、企業・店舗や子ども子育て団体等に積極的に働きかけたことで、コロナ禍の中であったが、新規でマッチング数が12件増えた。

また、活動団体自身が組織基盤の強化を図り、資金調達や人材育成を進めるために、研修会の開催や個別支援に取り組むとともに、オンラインツールを活用した交流機会や活動団体間のネットワークを広げた。

3. **より現場に近い地域（市町村等）において活動団体同士の交流機会や、若者の地域づくり活動への参画機会を広げた。**

市町村単位で活動団体同士が集い、NPO・地域運営組織等と行政がつながり、情報共有や意見交換を行う「地域づくり（NPO）交流会」の開催は、5年間で15市町村に広がった。また、新型コロナウイルス感染の拡大の中によって高まったオンラインツールの活用ニーズや公民館のコミュニティセンター化や共助の取組の動きを受けて、「Zoom体験講座」や地域づくりに関する講座等、地域の自治会や公民館等との対話の機会が広がった。また、高校生や大学生をはじめとする若い世代に対して、「夏のボランティア体験事業」「社会人・若者ボランティア（とっとりプロボノ）事業」等への参加を促すとともに、県やセンターの若者活動支援事業に対して個別支援を行った。

4. **情報発信を積極的にすすめ社会的認知を広げるとともに、職員の育成強化に努めた。**

県の発信媒体の活用、新聞広告、情報誌等の発行により、多様な層への発信に努めた。また、職員に対して面談（人事評価）による指導・助言、内外の研修への参加を促し、スキルアップを図った。

5. **鳥取県中部地震から5年、個別の被災者に対する生活復興支援事業（災害ケースマネジメント）の取組は、ほぼ完了した。**

鳥取県中部地震から5年、震災復興活動支援センターにおいて、「鳥取県版災害ケースマネジメント」の取組、「県震災復興活動特別支援事業補助金」等を活用した支援を進め、「生活復興プラン」を作成した世帯は、ほぼ支援が完了した。「災害ケースマネジメント」については、令和3年度から「鳥取県災害福祉支援センター」において、全県を対象として取り組みが進められることとなった。

1. 法人事業

1. 法人業務

(1) 評議員会、理事会の開催

○評議員、理事、監事の積極的な参加を得て、評議員会、理事会の活性化を図った。

ア 評議員会

| 日時 | 会議の種類 | 主な内容 |
|----------|---------------|---|
| 4月27日(火) | 第1回臨時評議員会(書面) | [決議] 理事1名の選任 |
| 6月21日(月) | 第2回定時評議員会(書面) | [決議] 令和2年度収支決算、役員(評議員5名、監事2名、理事9名)の選任、定款の一部改正、諸規程等の策定等 [報告] 令和2年度事業報告 令和3年度事業計画・収支予算、剰余金の使途 |
| 1月17日(火) | 第3回臨時評議員会(書面) | [決議] 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程改定 |

※評議員訪問 6月7日(月) 平井評議員(齋藤、毛利、以下同じ)

6月8日(火) 鳥取県市長会亀屋事務局長 [深澤評議員代理]

6月9日(水) 本城評議員、6月14日(月) 児嶋評議員、6月15日(火) 宮脇評議員

12月16日(木) 宮脇評議員、

12月17日(金) 鳥取県市長会亀屋事務局長 [深澤評議員代理]

12月24日(金) 児嶋評議員

イ 理事会・監査等

| 日時 | 会議の種類 | 主な内容 |
|---------------|---------------------|---|
| 4月13日(火) | 第1回臨時理事会(書面) | [決議] 理事候補者1名の選定、評議員会の招集 |
| 5月14日(金) | 監査(センター事務所) | 監事による令和2年度事業の監査 |
| 5月24日(月) | 第2回定例理事会 (オンライン) | [決議] 令和2年度事業報告・収支決算、剰余金の使途、 評議員、監事及び理事候補者の選定、評議員会の招集 [報告] 令和2年度監査報告 |
| 6月30日(水) | 第3回臨時理事会(書面) | [決議] 理事長及び常務理事の選定 事務局長の承認 |
| 10月29日 (金) | 第4回臨時理事会 (オンライン) | [報告] 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 令和2年度事業中間報告 第1回コンプライアンス委員会の報告 [協議] 令和4年度事業計画策定にむけて 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム事業執行体制 |
| 11月30日 (火) | 第5回臨時理事会(書面) | [決議] アルバイト就業規則改定 役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程改定 評議員会の招集 |
| 3月24日(木) | 第6回定例理事会(オンライン) | [決議] 令和4年度事業計画・収支予算、諸規程の改正、 役員及び評議員の特別の任務 [報告] 理事長及び常務理事の職務の執行状況の報告 令和3年度事業中間報告及び決算見込み コンプライアンス委員会報告 連携協定の締結 |

・説明文書「理事のみなさま」送付 7月29日(木)

・報告事項「鳥取銀行、Work Design Lab との協定締結について」メール送信 12月8日(水)

・理事、監事への説明

11月25日(木) 中井理事、11月26日(金) 森本理事、
11月29日(月) 長曾我部理事(オンライン)、竹本監事、西谷監事、
11月30日(火) 長谷川理事、岸本理事

・コンプライアンス委員会の開催 9月29日(水) 参加:小林、寺坂、世瀬、春名行政書士
(オンライン) 3月1日(火) 参加:小林、寺坂、世瀬、春名行政書士

(2) 信頼される事務局機能の構築

- 適切な役割分担とチームワークによって、県民に対する誠実な対応と確実な業務の遂行を図った。県内出張の機会が多く、東・中・西部3ヶ所に勤務地が分散している中、統一感をもった事務局機能を果たすために、スタッフミーティングを定期的に開催するとともに、Zoom等のオンラインによる情報共有や決裁・管理のツールとしてクラウド機能をさらに活用し、効率的な業務遂行に努めた。
- 専任の事務局員(アルバイト)とセンターの常勤職員が補佐として執行していた中国5県休眠預金等活用コンソーシアム事業の業務執行体制を見直し、管理体制を明確にすることにより、業務の適正かつ円滑な執行に努めた。
- 個々の職員が自己研鑽を図るとともに、日々の内部研修及び必要に応じて外部研修を行い、中間支援人材としての専門性(相談対応力、事務支援力、コーディネート力、企画プロデュース力、情報発信力等)を高めた。また、自己評価に基づく職員の人事評価や職員間のコミュニケーションを促進することで、モチベーションの向上を図った。
- 県民参画協働課をはじめ、県各振興課(東・中・西部)、県中部振興課(中部地震復興支援担当)、県新時代・SDGs推進課と定期的に協議の場を持ち、情報共有及び意思疎通に努めるとともに、県庁各課及び市町村との連携を図った。
- 災害時(県内外)におけるセンターの事務機能やNPO等、社会福祉協議会、行政、企業等支援組織との連携機能の強化を進めた。
- 役職員を対象とした「コンプライアンス」等の研修や委員会を開催し、公益認定法等の法令、定款や諸規程(規則)に基づく適切な運営、事務処理を行い、社会的信頼を得られるように努めた。

ア スタッフミーティング

- ・月1回程度開催(13回) ※コロナ対応によりオンラインを活用し、密を避けながら行った。
[理事長+常勤+非常勤+アルバイト]
4月5日(月)、4月23日(金)、5月20日(木)、6月18日(金)、7月20日(火)、
8月20日(金)、9月22日(水)、10月15日(金)、11月18日(木)、12月16日(木)、
1月12日(水)、2月17日(木)、3月22日(火)

イ 職員面談、人事評価

- ・理事長、常務理事及び次長が、職員に対して個々に面談を行った。第1回以降は、個々に人事評価を行い(アルバイトを除く)、面談を行った。
個別面談 期首面談11名 8月5日(月)、6日(火)、12日(月)、9月8日(水)
第1回 13名 11月15日(月)、16日(火)、18日(木)
第2回 6名(アルバイト) 1月20日(木)、21日(金)、24日(月)
7名(上記以外) 3月18日(金)

ウ スタッフ研修(事業に関わる県内外の情報収集及びネットワーク構築を含む)

<外部研修> 27回42日(全国の中間支援組織又は県等が行う、県内外の研修会等)

| 期日 | 場所 | 参加者 | 内容 |
|----------|-------|-----|------------|
| 4月23日(金) | オンライン | 椿 | NPO支援財団研究会 |

| | | | |
|-----------------------|--------------------|------------|--|
| | | | 「ポスト・コロナ時代に向けた助成財団とNPOとのパートナーシップを考える」 |
| 4月25日(日) ～26日(月) | オンライン | 職員全員 | 中国5県中間支援組織連絡協議会 中間支援組織・支援センター合同研修2021(休眠預金、SDGs、小規模多機能自治、NPO支援、NPO共済、コミュニティブリッジ等) |
| 4月30日(金) | オンライン | 寺坂 | 日本労働者協同組合(ワーカーズコープ)連合会ほか 労働者協同組合法学学習会 |
| 5月11日(火) | オンライン | 寺坂 | (一社)非営利組織評価センター(JCNE) JCNE組織評価情報交換会 |
| 5月12日(水) | とりぎん文化会館 &オンライン | 池淵 谷 | 日本財団(共催:鳥取県) 鳥取県×日本財団プロジェクトフォーラム |
| 5月25日(火) 6月9日(水) | オンライン | 谷 松林 | パナソニック株式会社&日本NPOセンター 「NPO/NGOの組織基盤強化のためのオンラインセミナー&ワークショップ」 |
| 6月10日(木) ～9月16日(木) | オンライン | 松林 | (一社)日本民間公益活動連携機構(JANPIA) 休眠POコーチング研修(全5回) |
| 6月14日(水) | オンライン | 世瀬 | 認定NPO法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会「NPOの労務セミナー」 |
| 6月24日(木) | オンライン | 松林 | (一社)日本民間公益活動連携機構(JANPIA) 休眠預金評価ケーススタディ勉強会 |
| 9月10日(金) | オンライン | 松林 中山 | (一社)日本民間公益活動連携機構(JANPIA) 監査と事業報告説明会実施に向けた勉強会 |
| 9月15日(水) | オンライン | 寺坂 | (一社)非営利組織評価センター(JCNE) BBB Wise&JCNE特別セミナー |
| 10月1日(金) | オンライン | 寺坂 世瀬 | 県雇用政策課 労働者協同組合法制定キックオフ |
| 11月25日(木) | オンライン | 池淵 谷 | 日本公庫・創業応援セミナー |
| 11月26日(金) | 新日本海新聞社 中部ホール | 小林 谷 | 災害ボランティアセンター体制づくり研修 |
| 11月26日(金) 27日(土) | オンライン | 小林 寺坂 | 認定NPO法人日本NPOセンター「市民セクター全国会議2021」 |
| 12月8日(水) ～9日(金) | オンライン | 松林 中山 | (一社)日本民間公益活動連携機構(JANPIA) 休眠預金2020年度通常枠PO2年目研修 |
| 12月12日(日) | オンライン | 毛利 | 国際開発学会「地域のSDGs取組事例紹介」 |
| 12月21日(火) | オンライン | 池淵 谷 | 認定NPO法人日本ファンドレイジング協会「社会貢献教育ファシリテーター基礎研修」 |
| 1月13日(木) | オンライン | 毛利 | 認定NPO法人日本NPOセンター・(独行)福祉医療機構「令和4年度WAM助成及び孤独・孤立対策の一環として予算化された令和3年度補正予算事業募集説明会」 |
| 1月14日(金) | オンライン | 毛利 池淵・谷 | 内閣官房まち・ひと・しごと創生本部事務局/内閣府地方創生推進事務局「『小さな拠点』づくり全国フォーラム」 |
| 1月18日(火) ～3月22日(火) | オンライン | 松林 | (一社)日本民間公益活動連携機構(JANPIA) 休眠POコーチング研修(全7回) |
| 2月10日(木) | オンライン | 松林 | (一社)日本民間公益活動連携機構(JANPIA) 休眠預金ファンドレイジング基礎講座 |

| | | | |
|--------------------|-------|---------------------------|---|
| 2月19日(土) 20日(日) | オンライン | 毛利 小林 谷 松林 野口 | 認定NPO法人日本ファンドレイジング協会「ファンドレイジング日本2022」 |
| 3月4日(金) | オンライン | 毛利 寺坂 池淵 上山 | NPO法人モバイル・コミュニケーション・ファンド(MCF)「2021年度ドコモ市民活動団体助成事業実態調査報告会」 |
| 3月7日(月) | オンライン | 毛利他 9名 | 中国5県中間支援組織連絡協議会「スタッフ交流会」 *センター企画運営 |
| 3月8日(火) | オンライン | 毛利 | NPO法人みんなの集落研究所「ランドバンク研究会」 |
| 3月18日(金) | オンライン | 松林 | (一社)日本民間公益活動連携機構(JANPIA) 休眠預金活用事業における資金管理等に関する勉強会 |

<内部研修> 1回1日

| 期日 | 場所 | 参加者 | 内容 |
|----------|-------|---------------|-------------------------------------|
| 3月24日(木) | オンライン | 毛利理事長 他役職員 | 「コンプライアンス等研修」 講師：谷川誠(さくら司法書士事務所) |

エ 定期協議等

- ・ 県民参画協働課との定期協議 年3回
7月14日(水)、10月19日(火)、1月18日(火)
- ・ 市町村担当課との協議(地域づくり・NPO交流会、震災復興等)を実施
- ・ 県行政監察・法人指導課への報告(事業報告1回、役員変更1回、事業計画1回)
- ・ 委託事業に関わる担当課による検査の実施
県中部振興課「中部地震生活復興支援事業」4月28日(木) 事務所
県民参画協働課「県民活動活性化事業」4月28日(木) 事務所
- ・ 顧問税理士 野口会計事務所(倉吉市) 月1回協議・確認

オ コンプライアンス関係

- 第1回 コンプライアンス委員会 9月29日(水) 参加：小林、寺坂、世瀬
第2回 コンプライアンス委員会 3月1日(火) 参加：小林、寺坂、世瀬
コンプライアンス研修 3月24日(木) 対象：役職員

カ 職員の採用

- ・ 鳥取県中部地震生活復興支援事業に係る非常勤職員1名を、4月1日(水)に新規採用
- ・ 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム事業に係るアルバイト1名を10月1日(金)に新規採用

キ 規程の整備

役員及び評議員の報酬並びに費用に関する規程、理事の職務権限規程、処務規程、リスク管理規程、経理規程、基本財産運用管理規程、就業規則、非常勤職員就業規則、アルバイト就業規則、在宅及び事務所外勤務規則の一部改正

2. 公益目的事業

1. 組織基盤強化支援事業【団体のスキルアップを図る】

(1) 専門家派遣事業

- NPO等の業務や会計等の専門的な相談に対して、税理士、司法書士、行政書士、社会保険労務士、中小企業診断士（ICT支援アドバイザー）等を個別又は出前相談会に派遣することで、NPO等が行う事務やガバナンスに関する課題の解決を図るとともに、NPO等に対する専門家の理解と専門家同士の交流を深めた。
- 専門家を構成員とするNPO等支援のためのネットワーク会議を開催した。
- 「とっとりソーシャルビジネスサポートネットワーク」^{※2}の機能を活かすための働きかけを行った。

※2 とっとりソーシャルビジネスサポートネットワーク…平成26年6月30日、県民、特定非営利活動法人、企業など地域社会を構成する様々な主体が推進する共助の活動を支援することを通じて、地域の課題解決や新たな需要、雇用、資金循環を、生み出すことにより、地域の活性化に協力して取組みを推進することを目的に、株式会社日本政策金融公庫鳥・米子支店国民生活事業をはじめ、鳥取県中小企業診断士協会、鳥取県行政書士会及びセンターが締結した協定に基づくネットワーク。

ア 専門家の派遣

- ・派遣実績 20回を目標としたが、新型コロナウイルス感染拡大により、予定していた「とっとり元気フェスでの出前相談会」、「NPO交流会への派遣」が中止となり、延べ9回10団体の派遣となった。

| 区分 | 回数 | 団体数 | 内容 |
|--------|----|------|---|
| 個別派遣 | 3回 | 3団体 | ICT支援者×NPO法人OMU（鳥取市） 税理士×あいみ富有の里地域振興協議会（南部町） 社労士×NPO法人学生人材バンク（鳥取市） |
| センター事業 | 6回 | 7団体 | 税理士×NPO法人ひとりじゃない 税理士×NPO法人桜キッズフィールド 税理士、社労士×NPO法人いんしゅう鹿野まちづくり協議会 社労士×NPO法人こども未来ネットワーク 社労士×NPO法人あいおらいと 社労士×NPO法人智頭の森こそだち舎 社労士×NPO法人ライフサポートともだち |
| 合計 | 9回 | 10団体 | |

・ 専門家の登録

| 登録専門家 | 東部 | 中部 | 西部 | 計 |
|-----------|-----|----|-----|-----|
| 税理士 | 2名 | 3名 | 4名 | 9名 |
| 司法書士 | 1名 | — | — | 1名 |
| 行政書士 | 6名 | 3名 | 6名 | 15名 |
| 社会保険労務士 | 5名 | 1名 | 2名 | 8名 |
| 中小企業診断士 | 1名 | 1名 | 5名 | 7名 |
| ICTアドバイザー | 6名 | 1名 | 0名 | 7名 |
| 計（延べ人数） | 21名 | 9名 | 17名 | 47名 |
| 実人数合計 | 17名 | 8名 | 16名 | 41名 |

イ 専門家支援ネットワーク会議 2回実施

- 第1回 10月25日（月）センター事務所+オンライン 参加7名+職員
労働者協同組合法制定についての情報共有
- 第2回 3月8日（火）センター事務所+オンライン 参加7名+職員
ケーススタディ：打吹地区活性化NPOを準備する会（倉吉市）

※「とっとりソーシャルビジネスサポートネットワーク」構成団体の日本政策金融公庫鳥取支店より、第1回に1名参加。

(2) NPO経営実態把握事業

○県のホームページに掲載されている公開情報、アンケート、訪問又は電話による聞き取りにより、NPO法人の経営実態を調査し、相談対応及び伴走支援等の基礎資料となる「NPO経営実態資料」（収支構造や雇用等経営状況、会計事務等の運営状況及び情報収集・発信等の活動状況並びにこれらの課題をとりまとめた資料）を更新、整備した。

ア アンケート調査及び訪問又は電話による聞き取り

- ①「7月豪雨のNPO等の被災及び支援状況アンケート」実施
 - ・実施：7月16日（金）～7月28日（水）
 - ・集計数：46団体/送付数418（NPO法人280、その他138）+SNS等で周知
- ②「新型コロナウイルス感染拡大の影響と対応及びSDGsへの取り組み等に関する鳥取県内のNPO等へのアンケート」実施
 - ・実施：6月21日（月）～8月20日（金） 延長 〆切：10月15日（金）
 - ・集計数：回収数計79団体/送付数427（NPO法人290、その他137）

イ 訪問又は電話による聞き取り

- ・更新データ件数（経営実態資料）及び聞き取り（訪問又は電話による聞き取り調査）の目標数30NPO法人 実績：30NPO法人（東部10、中部9、西部11）

<聞き取り先>

| 地域 | 聞き取り先団体 | |
|----|---------|--|
| 東部 | 10 | NPO法人さじ未来、NPO法人ファザリングジャパン中国（鳥取市）、認定NPO法人十人十色（鳥取市）、NPO法人居場所研究所（鳥取市）、NPO法人回想療法センター（八頭町）、NPO法人きなんせこども館（岩美町）、NPO法人あいおらいと（鳥取市）、NPO法人青い鳥の会（鳥取市）、NPO法人自然栽培そらみずち（智頭町）、NPO法人OMU |
| 中部 | 9 | NPO法人花本美雄文化振興会（琴浦町）、NPO法人東伯けんこう（琴浦町）、NPO法人まちづくりネット（北栄町）、NPO法人みささ温泉（三朝町）、NPO法人たかしろ（倉吉市）、NPO法人梨花（倉吉市）、NPO法人とまり（湯梨浜町）、NPO法人糸（倉吉市）、NPO法人四つ葉 |
| 西部 | 11 | NPO法人南部町総合型スポーツクラブ（南部町）、NPO法人おやこサポート小窓（米子市）、NPO法人明るい生活（米子市）、NPO法人本の学校（米子市）、NPO法人むきばんだ応援団（米子市）、NPO法人発達障がい児親の会CHERRY（米子市）、NPO法人コンシューマーズサポート鳥取（米子市）、NPO法人コミュニティネット山陰（米子市）、NPO法人YSSだいでん（大山町）、NPO法人AKATUKI（米子市）、NPO法人保育サポータークローバーキッズ（米子市） |

ウ NPO経営実態資料の作成

- ・NPO法人の活動計算書等、県ホームページ掲載の公開情報を分析した結果を、鳥取大学地域学部の竹内潔講師及び同研究室の学生と共同で取りまとめ、調査報告書として作成、公開した。
- ・上記結果をNPO法人毎にファイリングした資料を作成した。

(3) 非営利組織基盤強化・評価推進事業【自主事業】

○NPO等の組織力強化・ガバナンスの向上を図り、社会的信用を高めるため、組織基盤強化支援を行うとともに、積極的な情報公開・情報発信を促した。

ア 非営利組織評価推進事業

- ・(一財)非営利組織評価センター(JCNE)との連携
JCNE「組織評価情報交換会」5月11日(火) オンライン参加:寺坂
JCNE「マンデーサロン」6月21日(月) オンライン参加:松林
JCNE「組織評価制度・事業説明会/情報交換会」8月25日(水) オンライン参加:寺坂
JCNE「BBB Wise&JCNE 特別セミナー Charity Impact:チャリティーのもたらすインパクト」
9月15日(水) オンライン参加:寺坂
- ①「ベーシックガバナンスチェック」※3…一般社団法人 山郷地区振興協議会
- ②「グッドガバナンス認証」※4…NPO法人こども未来ネットワーク(倉吉市)(県内初)
- ※3 「ベーシックガバナンスチェック」…JCNEの評価基準23項目に基づき、団体運営の基本についてセルフチェックと提出書類をもとに組織評価を行っている。継続的に第三者評価を受け、情報開示に積極的な透明性の高い団体として、JCNEが支援を推奨している。
- ※4 「グッドガバナンス認証」…組織運営やガバナンスが一定水準以上のレベルの非営利組織を認証。組織内部の状況を第三者機関に開示して、信頼性・透明性の向上に努めている団体、課題がある場合も見直し、改善していく姿勢や意欲がある団体。

イ 休眠預金(コロナ枠、2020年度通常枠)採択団体に対する組織評価及び伴走支援

コロナ禍において持続可能な組織基盤強化を目的に実施する休眠預金等活用事業の採択団体に対して、規程類の作成、社会的インパクト評価をはじめとする「組織診断」等の評価活動の支援を行った。

ウ 情報開示・情報発信支援

- ・県民参画協働課「令和新時代創造県民運動サイト」、日本財団CANPAN等のポータルサイト、「とっとりSDGsプラットフォーム」等を活用して、情報開示・発信支援を行った。

(4) NPO事務力強化事業

○NPO法人会計基準の活用を促進し、NPO法人が、会計・税務・労務・登記・所轄庁事務・定款に基づく組織運営等、基本的な事務力を獲得するとともに、ガバナンスの構築により、その自立性、透明性、信頼性の向上を図るため、会計基準活用等、地域づくり活動、NPO活動におけるノウハウの提供、団体の基盤強化につながる事務力向上を目的とした講座を企画し、実施した。

ア NPO事務力セミナー

| 地域 | 内容 | 日時 | 場所 | 参加人数 |
|----|--|-----------|---------------|------|
| 東部 | 「NPO事務業務カレンダーをつくらう！」 第1部:セミナー 第2部:相談会 | 12月10日(金) | 県民ふれあい会館 | 10名 |
| 中部 | | 12月17日(金) | 倉吉交流プラザ | 7名 |
| 西部 | | 12月14日(火) | 米子コンベンションセンター | 6名 |

イ NPO法人事務説明会

県各振興課と共同で行う「NPO法人事務説明会」は開催せず、各振興課担当者と専門家が講師となり、法人業務や組織運営のポイントや注意点を「事務力セミナー」等で周知した。

(5) 助成金活用促進事業

○県内外の助成金情報を紹介し、効果的な活用を促す「助成金合同説明会」を開催するとともに、センターが募集する補助金の周知を行った。

ア 助成金合同説明会

県内外の助成団体及び助成を受けた団体の説明・事例発表を受け、個別相談会を実施し、申請及び採択団体の拡大を図った。

| 開催方法 | 内容 | 日時 | 場所 | 参加団体数 |
|-------|---|----------|---------|-------|
| オンライン | 「～コロナで止まるな！～助成金・補助金合同説明会&相談会」 〈助成団体の説明〉 公益財団法人キリン福祉財団、こくみん共済coop<全労済>、鳥取県男女共同参画センター「よりん彩」、鳥取県県民参画協働課、株式会社鳥取銀行、とっとり県民活動活性化センター | 7月13日（火） | センター事務所 | 19団体 |
| オンライン | 「～コロナで止まるな！～助成金・補助金合同説明会&相談会 Vol.2」 〈助成団体の説明〉 日本郵便株式会社、株式会社鳥取銀行、（一社）セブンイレブン記念財団、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、とっとり県民活動活性化センター | 10月2日（土） | センター事務所 | 21団体 |

イ 民間助成制度説明会&相談会（県の地域づくり団体助成事業説明会と同時開催）

| 開催方法 | 内容 | 日時 | 場所 | 参加団体数 |
|-------|---|----------|---------|-------|
| オンライン | 「地域づくり関係助成事業説明会」 助成制度の情報及び助成申請のポイント等 | 3月16日（水） | センター事務所 | 51団体 |

ウ 補助金の周知

「～コロナで止まるな！～助成金・補助金合同説明会&相談会」をはじめとして、約470か所の法人、団体へ郵送及びメールリングリストで周知を図った。

(6) 控除対象特定非営利活動法人指定支援補助金交付事業【補助事業】

○鳥取県のNPO法人の条例個別指定制度に基づき指定を受けようとするNPO法人が、司法書士等に相談する際の経費に対して補助金を交付する事業。

今年度、申請なし。

- ・補助額上限 15万円/件 NPO法人 2件程度 補助率3/4 実績：申請0
- ・募集期間 4月1日（木）～7月15日（木）（2次）9月1日（水）～10月20日（水）
- ・県内NPO等（400ヶ所以上）へ周知
- ・指定申請の可能性のあるNPO法人への呼びかけを行い、直接「認定法人」をめざすNPO法人の申請支援を行ったが、条例個別指定制度を活用するNPO法人はなかった。

(7) とっとりSDGs推進補助金交付事業【補助事業】

○SDGsの達成に向けて積極的に取り組む地域づくり団体やNPO法人等の広報活動及び研修等の開催支援、若者が取り組むSDGsの普及啓発活動を支援した。

① 広報活動支援型

- ・交付対象：パンフレット・リーフレット等の冊子作成、ウェブサイトの作成・改修、映像・動画の作成
- ・補助上限額 11万2千円/件 13件程度 補助率3/4 県内NPO等（400ヶ所以上）へ周知
- ・予算総額150万円に対して7団体670,000円の交付を確定

| 区分 | 1次募集 | 2次募集 | 3次募集 |
|----|------|------|------|
| | | | |

| | | | |
|-------------|---|-----------------------|-------------------------------|
| 募集期間 | 4月26日(月)～ 5月31日(月) | 7月26日(月)～ 8月23日(月) | 10月1日(金)～ 10月29日(金) |
| 審査会 | 6月22日(火) | 9月17日(金) | 11月19日(金) |
| 申請・採択 件数 | 申請6団体 採択6団体 | 申請1団体 不採択1団体 | 申請1団体 採択1団体 |
| 交付決定額 | 558,000円 | 0円 | 112,000円 |
| 交付確定額 | 558,000円 | — | 112,000円 |
| 交付決定 団体 | 【東部】NPO法人岩美障がい 児者親の会びゅあふれんず(岩 美町)、鳥取ふるさとUI(友 愛)会(鳥取市) 【中部】ボランティア団体MC C(湯梨浜町)、瑩芯館(琴浦町) 【西部】一般社団法人みんなの いえ(米子市)、鳥取県モンゴル 中央県親善協会(米子市) | | 【西部】特定非営利活動法人 AKATUKI(米子市) |

② 研修等支援型

- ・ 交付対象：講師等を招いて広く県民を対象に開催する研修会等の謝金及び旅費
センターが認める全国研修等への参加に要する交通費・宿泊費
- ・ 補助上限額 5万円/件(研修会の開催等において一定規模を満たす場合上限額10万円/件)
15件程度 補助率10/10 県内NPO等(400ヶ所以上)へ周知
- ・ 予算総額75万円に対して4団体166,000円の交付を確定

| 区分 | 1次募集 | 2次募集 | 3次募集 |
|-------------|---|-------------------------------|------------------------|
| 募集期間 | 4月26日(月)～ 5月31日(月) | 7月26日(月)～ 8月23日(月) | 10月1日(金)～ 10月29日(金) |
| 審査会 | 6月22日(火) | 9月17日(金) | 11月19日(金) |
| 申請・採択 件数 | 申請4団体 採択4団体 | 申請1団体 条件付き採択1団体 | — |
| 交付決定額 | 229,000円 | 100,000円 | — |
| 交付確定額 | 166,000円 | 0円 | — |
| 交付決定 団体 | 【中部】青少年育成団体 ポレ ポレキッズ☆(湯梨浜町)、NP O法人こども未来ネットワー ク(倉吉市)、倉吉市体験型教育 旅行誘致協議会(倉吉市) 【西部】NPO法人喜八プロジ ェクト(米子市) | 【東部】認定NPO法人ハーモ ニイカレッジ(鳥取市) | |

③ 若者団体活動支援型

- ・ 交付対象：若者が中心となって(16歳～29歳の者が2/3以上、3名以上の団体)、県内で実施する活
動を地域に普及啓発する取組
- ・ 補助上限額 10万円/件 5件程度 補助率10/10
- ・ 予算総額50万円に対して1団体19,000円の交付を確定

| 区分 | 1次募集 | 2次募集 |
|------|-------------------|-------------------|
| 募集期間 | 5月10日(月)～6月21日(月) | 8月20日(月)～9月17日(金) |
| 審査会 | 7月15日(木) | 10月5日(火) |

| | | |
|---------|---------------------------------|---------------------------------|
| 申請・採択件数 | 申請1団体・採択1団体 | 申請2団体・採択2団体 |
| 交付決定額 | 60,000円 | 82,000円 |
| 交付確定額 | 0円 | 19,000円 |
| 交付決定団体 | 【東部】農林業における有害を有益に変えるプロジェクト（鳥取市） | 【東部】放課後釣具倶楽部（鳥取市）、再エネ広報の団体（鳥取市） |

(8) 資金調達支援事業

- NPO等による団体運営や活動に必要な資金の確保につなげるため、資金調達に関するアドバイス等を行った。
- ・クラウドファンディングの相談に対し、概要と活用について説明し、他の助成金の活用についても助言を行った。（1回）
 - ・県民参画協働課、文化財課、西部総合事務所とともに、相談者への対応の中で、クラウドファンディングについて活用等の助言を行った。（3回）

2. 地域づくり活動支援の輪を広げる取組【地域で支える】

(1) 企業との連携による県民運動の拡大

- 「ヒト」「カネ」「スキル」「ノウハウ」等、多くの資源を抱える企業・事業者の社会貢献意欲を喚起し、企業によるNPO等への支援や、企業・事業者のCSR活動のより一層の実践を推進した。
- 商工団体等と連携して、「ヒト」「モノ」「カネ」「ノウハウ」等多様な資源を擁する企業とNPO等とのマッチングを行い、企業の社会貢献・CSR活動、SDGsにむけた取組の推進を図った。

ア CSRマッチングセミナー

SDGsの理解を深め、企業、NPO等が行うSDGsの動きを紹介するセミナーを開催した。

| 開催方法 | 日時 | 内容・講師（事例報告者）等 | 参加団体数 |
|-------|----------|--|-------------|
| オンライン | 9月27日（月） | 講演：「SDGsの取り組み方」 井上光悦（山陰合同銀行地域振興部調査役・とっとりSDGs伝道師） 事例報告：小西正剛（株式会社ホープタウン取締役副社長） 小笹翔太（山陰酸素工業株式会社総務グループ） | 18団体 18名 |
| オンライン | 1月19日（水） | 講演：「地域の未来をつくるために企業が〜大川印刷が考えるCSR・SDGs〜」 大川哲郎（株式会社大川印刷代表取締役） | 28団体 40名 |

イ 働き方改革（余暇を使った社会貢献活動）セミナー

SDGsの理解を深め、企業、NPO等が連携して行う余暇を使った社会貢献活動の動きを紹介するセミナーを開催した。

| 開催方法 | 日時 | 内容・講師（事例報告者）等 | 参加人数 |
|-------|----------|--|------|
| オンライン | 7月22日（木） | 事例報告：デービッド・シェーファー（SMBC日興証券株式会社国際担当補佐、経営企画担当補佐） ※プロボノ事業と連携して開催 | 21名 |

ウ 寄付つき商品開発普及、プロボノプロジェクト参加促進等、企業への個別働きかけ

センター来所時の相談対応や、商工会等の定例会及びセミナー等の機会を利用して、寄付つき商品やプロボノプロジェクトへの参加促進等の働きかけを行った。

目標：100社 実績：149社

(2) 寄付つき商品開発普及事業

○寄付つき商品に新たにとりくみたい企業等と活動団体とをマッチングし、開発支援・広報を実施した。

マッチング件数 36件

※県の実績報告書に合わせてカウントの仕方を変更

実施件数 36件 寄付先団体 16団体

寄付金額 305,006円、絵本5冊

ア 寄付つき商品 通年実施分 実施数6件（うち継続3件） 寄付先団体6団体

| 新規 | 企業名 | 所在地 | 商品名 | 寄付内容 | 寄付先団体 | 寄付金額 |
|----|------------------|-----|----------------------------------|--------------|-------------------------|---------|
| | 寿製菓(株) | 米子市 | スタミナ納豆の素 | 購入1袋につき10円 | こども食堂とみんなの居場所ほっとここ | 14,380円 |
| | ホープタウン（宮脇書店） | 米子市 | 絵本・児童書 | レシート20枚で絵本1冊 | 米子聖園ベビーホーム | 絵本5冊 |
| ○ | 海色・湯の宿 松月（有）松月旅館 | 米子市 | オリジナルエコバッグ | 商品売上げの10% | とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく” | 200円 |
| ○ | 皆生 游月（有）松月旅館 | 米子市 | オリジナルエコバッグ | 商品売上げの10% | 鳥取県ユニセフ協会 | 100円 |
| ○ | たにがみ農園 | 鳥取市 | なたまめ茶 | 1袋につき30円 | NPO 法人学生人材バンク | 2,850円 |
| | Sun-in まひろ | 米子市 | 牛串、ポテト、焼きそば、チェロス、唐揚げ、クレープ、ドリンクなど | 期間中売上金額の5% | Tottori Mama's | 26,000円 |

イ 夏のとっとり寄付つき商品キャンペーン

ホープタウン（米子市）と連携して、8月15日（日）～9月15日（水）に、初めて夏のキャンペーンを実施。子ども子育て支援団体を寄付先対象として「お買い物チャリティー」を実施した。

<キャンペーン参加企業・店舗> 実施数7件 寄付先団体5団体

| 新規 | 企業・店舗名 | 所在地 | 商品名 | 寄付内容 | 寄付先団体 | 寄付金額 |
|----|--------------------|-----|-------------------|------------|-------------------------|---------|
| | 花shop まつだ（ホープタウン内） | 米子市 | 500円以上の観葉植物 | 購入1つにつき50円 | NPO 法人保育サポータークローバーキッズ | 3,000円 |
| | 和食処やじきた（ホープタウン内） | 米子市 | 全メニュー | 期間中売上金額の1% | とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく” | 6,208円 |
| | お肉のなべさん（ホープタウン内） | 米子市 | 鳥取県産大山豚肉肩・もも切り落とし | 売上の5% | 子どもの人権広場 | 20,000円 |
| ○ | ル プチコバ（ホープタウン内） | 米子市 | 角食パン | 購入1斤につき30円 | とっとり子どもの居場所ネットワーク“えんたく” | 9,600円 |
| | 薬膳食堂犬狹 | 倉吉市 | 陰陽薬膳ランチ | 1食につき10円 | チャイルドラインうさぎのみみ | 740円 |
| | てぬぐい工房らっぷ | 倉吉市 | 1000円以上 | 1枚につき | NPO 法人こども未来ネ | 2,000円 |

| | | | | | | |
|--|------------|-----|---------------------------------|-------------|-----------------------|---------|
| | | | の手ぬぐい | 50 円 | ットワーク | |
| | Sun-in まひろ | 米子市 | 牛串、ポテト、焼きそば チェロス、唐揚、クレープ、ドリンクなど | 期間中売上金額の10% | NPO 法人保育サポート クローバーキッズ | 5,900 円 |

※チラシ、ポスター、ポップを作成し、周知を図った。

ウ とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン

国連総会で子どもの権利条約が1989年11月20日（世界子どもの日）に採択されて30年目にあたる令和元年度からスタートした「とっとり世界子どもの日寄付キャンペーン」。

12月の寄付月間を含む11月20日（土）～12月31日（金）をキャンペーン期間とし、子ども子育て支援団体を寄付先対象として「お買い物チャリティー」を実施した。

＜キャンペーン参加企業・店舗＞ 実施数23件 寄付先団体14団体

| 新規 | 企業・店舗名 | 所在地 | 商品名 | 寄付内容 | 寄付先団体 | 寄付金額 |
|----|-------------------|-----|---------------------------------|-------------------------|-------------------------|---------|
| | 菓膳食堂犬狹 | 倉吉市 | 陰陽菓膳ランチ | 1食につき10円 | チャイルドラインうさぎのみみ | 2,250円 |
| | てぬぐい工房らっぷ | 倉吉市 | 1000円以上の手ぬぐい | 1枚につき50円 | NPO 法人鳥取県自閉症協会 | 3,000円 |
| | Sun-in まひろ | 米子市 | 牛串、ポテト、焼きそば チェロス、唐揚、クレープ、ドリンクなど | 期間中売上金額の10% | Tottori Mama's | 13,000円 |
| | 木のおもちゃとわらべうた ここあん | 境港市 | 木のおもちゃ、アナログゲーム等 | 売り上げの5% | チャイルドラインうさぎのみみ | 20,570円 |
| ○ | 豆ひとつぶ | 境港市 | 日用品や食品の一部 | 売り上げの5% | NPO 法人子ども未来ネットワーク | 7,300円 |
| ○ | cafe マルマス | 境港市 | 全メニュー | 売り上げの1% | 境港親と子どもの劇場 | 1,502円 |
| | 梅津酒造 | 北栄町 | 酒粕 | 1袋につき10円 | 虹の会 | 5,000円 |
| ○ | 海色・湯の宿 松月 (有)松月旅館 | 米子市 | オリジナルエコバッグ 日本種3種のみ比べセット | 商品売り上げの10% 商品売り上げの5% | とっとり子どもの居場所ネットワーク”えんたく” | 5,000円 |
| ○ | 皆生 游月 (有)松月旅館 | 米子市 | オリジナルエコバッグ 奥出雲ワイン | 商品売り上げの10% 商品売り上げの5% | 鳥取県ユニセフ協会 | 4,780円 |
| ○ | 歴史カフェ会津 | 倉吉市 | 渋沢栄一 CSR メニュー | 1食につき100円 | 自然がっこう旅をする木 | 7,000円 |

| | | | | | | |
|---|----------------------|----------|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------------|---------|
| | 鳥取の地酒てんまり | 鳥取市 | 生ビール | 1杯につき 50円 | NPO 法人鳥取・森のよ うちえん・風りんりん | 17,450円 |
| | 梅乃井 | 鳥取市 | ドリンク | 1杯につき 10円 | とっとり子どもの居 場所ネットワーク”え んたく” | 4,830円 |
| | ジンギスカン焼肉ジンジ ン | 米子市 | アルコール ドリンク | 1杯につき 10円 | 子どもの人権広場 | 6,500円 |
| | Web もり | 鳥取市 | セミナー参 加費 | 11/9 開催分 全額 | Tottori Mama's | 14,000円 |
| | 北海道居酒屋北の大地 | 鳥取市 | ドリンク テイクアウ ト | 1杯につき 10円 売り上げの 3% | Tottori Mama's 歯っぴいほっとスマ イル | 5,000円 |
| | とんかつ専門店とん吉 | 湯梨浜 町 | 大山ブタロ ースカツ定 食 | 1食につき 100円 | ほっとここ | 10,000円 |
| | 鶴の髯 | 倉吉市 | もなか詰め 合わせ | 1セットに つき30円 | NPO 法人子ども未来ネ ットワーク | 1,260円 |
| ○ | 倉吉ブックセンター | 倉吉市 | ショッパ ッグ | 1つ100円全 額 | チャイルドラインう さぎのみみ | 3,500円 |
| | ル プチコバ (ホープタウン内) | 米子市 | 角食パン | 購入1斤に つき30円 | とっとり子どもの居 場所ネットワーク”え んたく” | 14,190円 |
| | お肉のなべさん (ホープタウン内) | 米子市 | 鳥取県産大 山豚肉肩・ もも切り落 とし | 売上の5% | NPO 法人鳥取県自閉症 協会 | 20,000円 |
| | 美酒佳酒ゆらく | 米子市 | 日本酒 | 1杯につき 10円 | NPO 法人保育サポータ ークローバーキッズ | 7,140円 |
| ○ | Matsu-Sou | 境港市 | 衣料品など | 売り上げの 1% | 境港親と子どもの劇 場 | 1,244円 |
| ○ | 本舗目玉おやじ饅頭 | 境港市 | 目玉おやじ まんじゅう | 売り上げの 5% (11/20~ 3/31) | NPO 法人子ども未来ネ ットワーク | 37,442円 |

※キャンペーンウェブサイトの活用、チラシ、ポスター、店舗用ポップ等を作成配布
新聞広告掲載・マスコミへの資料提供
まちゼミ（11月13日～14日鳥取市）でチラシの配架、配布
CSRセミナーで寄付付き商品事業を紹介

(3) 民間協働型活動支援事業【自主事業】

○企業及び県内外の支援団体と連携し、資金、物品、ノウハウ等の支援プログラムを実施し、寄付文化醸成のイベント等を「全国寄付月間（12月）」やSDGs推進の取組と連携して開催した。

ア 寄付文化の醸成及び寄付活動の活性化にむけた活動

- ・寄付の教室等「社会貢献教育」や参加型の「寄付プロジェクト」の検討・普及を行った。
お買い物チャリティー等で「全国寄付月間2021」に参加
認定NPO法人日本ファンディング協会「ファシリテーター基礎研修」 参加：池淵、谷

イ 「47コロナ基金とつとりつながるプロジェクト」等の寄付募集、助成及び発信

(一社) 全国コミュニティ財団協会との連携事業

地域創造基金さなぶり(宮城県)が実施する「コングラント」サイトを活用して、通年で寄付を募集した。

「47コロナ基金」に協働団体として参加。

同基金を寄付金窓口として、寄付募集を行い、新型コロナウイルス感染の影響により、活動の制限や組織運営上の課題を抱えながらも新たなニーズに対応し、次代にむけた活動を地域ですすめているNPO等に助成を行った。

・寄付金募集 令和2年11月～令和4年3月末

・第1次助成団体募集及び採択結果

| 区分 | 1次募集 |
|---------|----------------------|
| 募集期間 | 令和3年3月5日(金)～3月29日(月) |
| 審査会 | 4月21日(水) |
| 申請・採択件数 | 申請2団体、採択2団体 |
| 交付決定額 | 271,800円 |
| 交付確定額 | 271,800円 |

| 採択団体 | 子どもの人権広場 | 認定NPO法人ハーモニカレッジ |
|--------|---|--|
| 所在地 | 米子市 | 鳥取市 |
| 助成金額 | 150,000円 | 121,800円 |
| 事業実施期間 | 令和3年6月～11月 | 令和3年6月～11月 |
| 事業概要 | 主に米子市内において「コロナ禍における子ども子育て実態調査(地域版)の実施」、「子育て支援団体へのヒアリング」、「ちいさいおうちの居場所活動」を通じて子育て支援団体同士のネットワーク化を図り、地域の居場所づくりの活動を推進する。 | 鳥取市や八頭町の小学生を対象に、平日放課後に空山ポニー牧場でポニーとのふれあいや自然体験活動ができる子どもたちの新たな放課後時間を提供する。 |
| 事業実績 | ○コロナ禍における子ども子育て実態調査(地域版) 実施期間:10月25日～11月25日 方法:オンラインでのアンケート 回答数:720件 有効回答:718件 ○調査ヒアリングを通じたネットワークづくり ヒアリング:5団体 ○ちいさいおうちの居場所活動 ・「子どもの広場」月1回(5月～11月、参加者:のべ302名) ・夏休み期間中(7月26日～8月30日のうち22日間、参加者:のべ102名) | 月曜日から金曜日までの平日5日間(夏休みを除く)に馬と触れ合う体験や自然の中での活動 参加者:小学生のべ1192人 |
| 中間報告会 | 3月12日(土) オンライン開催 ※プロボノ報告会と同日開催 活動報告(①NPO法人ハーモニカレッジ ②子どもの人権広場)、意見交換会 コーディネーター:直島克樹氏(川崎医療福祉大学医療福祉学科講師) 参加者:24名 | |

※ 「47都道府県『新型コロナウイルス対策』地元基金(略称「47コロナ基金」)全国47都道府県それぞれの課題、ニーズに対応しようと現場で踏ん張るNPO、企業、医療者等の支援を助成の形で行うことを目的に、(一社)全国コミュニティ財団協会(CFJ)が設置する基金。現場に寄り添い支援の支援を行う全国各地のコミュニティ財団やNPO支援センター、地域づくりセンターなどとの協働プロジェクトとして、47都道府県の合同で寄付の募集をし、各地で助成を行う。基金管理団体:(公財)地域創造基金さなぶり 寄付募集パートナー:リタワークス株式会社「congrant」

ウ とっとりイーパーツリユースPC寄贈プログラム等

・NPO等を対象として企業等が行う寄贈プログラムと連携・協力して、受贈団体とのマッチングを行った。

①第8回イーパーツリユースPC寄贈プログラム（リサイクルパソコン等の寄贈）

認定NPO法人イーパーツ（東京）との協働事業

協力団体 鳥取県社会福祉協議会、鳥取市社会福祉協議会鳥取市ボランティア・市民活動センター
倉吉市社会福祉協議会、米子市社会福祉協議会、境港市社会福祉協議会

- ・募集期間 5月24日（月）～7月21日（水）
- ・審査会 8月2日（月）日本財団まちなか拠点 in Tottori
- ・申請10団体（ノートPC14台、プリンター 4台）
- ・採択 8団体（ノートPC11台、プリンター 4台）
- ・寄贈式 8月28日（土）オンライン開催 参加8団体11名

| 区分 | 東部（2団体） | 中部（1団体） | 西部（5団体） |
|------|--------------------------------|--------------------|---|
| 寄贈品 | ノートPC3台 プリンター2台 | ノートPC1台 | ノートPC7台 プリンター2台 |
| 寄贈団体 | NPO法人青い鳥の会（鳥取市）、NPO法人さじ未来（鳥取市） | ガールスカウト鳥取県第4団（倉吉市） | 境港親と子どもの劇場（境港市）、NPO法人みすず（米子市）、NPO法人サポートイルカ（米子市）、NPO法人保育サポータークローバーキッズ（米子市）、NPO法人伯耆みらい（伯耆町） |

②鳥取県生活協同組合が取り組む「フードドライブ」事業の連携企画（食品の寄贈）

今年度は、コロナ禍により生協まつりは中止された。

フードドライブによる学生への食材提供において、藤田学院（鳥取短期大学、鳥取看護大学）と県生協をつないだ。藤田学院と県生協が10月6日（水）合意書を締結した。

③明治ホールディングス株式会社株主優待（子どもたちへのお菓子の寄贈）

認定NPO法人日本NPOセンターの呼びかけに応え、県内の支援団体等と協議を行い、推薦団体を決定し、寄贈者で構成する委員会等で寄贈先団体決定後、送られてきたお菓子を寄贈先団体に届けた。

寄贈団体数：8団体（1団体あたり市価4～5万円程度のお菓子を贈呈） 寄贈時期：12月

寄贈対象：「障がいのある子ども」「自然災害の被災地」「自然災害の広域避難者」「東日本大震災で広域避難した子ども達」を対象に活動・支援を行う団体

| 区分 | 対象テーマ | 採択団体 | 所在地 |
|----|------------------|-------------------|------|
| 東部 | 障がいのある子ども | NPO法人きなんせこども館 | 岩美町 |
| | 障がいのある子ども | 一般社団法人アートスペースからふる | 鳥取市 |
| | 東日本大震災で広域避難した子ども | とっとり震災支援連絡協議会 | 鳥取市 |
| 中部 | 障がいのある子ども | NPO法人糸 | 倉吉市 |
| | 障がいのある子ども | 虹の会 | 琴浦町 |
| 西部 | 障がいのある子ども | NPO法人大地 | 日吉津村 |
| | 障がいのある子ども | NPO法人希望の里 | 米子市 |
| | 障がいのある子ども | NPO法人いるか | 米子市 |

エ ごうぎんSDGs私募債（地域おこし型・NPO）寄贈事業

山陰合同銀行及び私募債発行企業との協働事業 私募債発行時に発行金額の0.2%を寄贈

- ・私募債発行企業の希望を尊重しながら、センター登録団体とのマッチングを行う事業。
今年度なし

オ 中国ろうきんNPO寄付システム

中国5県でNPO支援に取り組む5つの中間支援組織と中国労働金庫の協働事業

中国労働金庫の普通預金口座を通じて、福祉や環境などNPO法上の19の活動分野毎に入金された県内の寄付金（1ヶ月1口1000円）を、NPO法人に配分した。

- ・助成額 5万円/件 ・助成対象 NPO法人
- ・募集時期 12月1日（水）～12月23日（木） ・審査会 1月14日（金）センター事務所
- ・寄付金贈呈式 [東部] 2月24日（木）鳥取県東部地域振興事務所東部振興課 参加1団体1名
[中部、西部] 24日（木）中国労働金庫米子支店（2階） 参加6団体6名
- ・申請8団体 採択7団体 助成額5万円×7団体＝35万円

| 区分 | 分野 | 採択団体 | 所在地 | 寄贈式 |
|----|----------|----------------------|-----|------------|
| 東部 | まちづくり | NPO法人OMU | 鳥取市 | 2月24日（木）鳥取 |
| 中部 | 保健・医療・福祉 | NPO法人東伯けんこう | 琴浦町 | 2月24日（木）米子 |
| 西部 | 環境保全 | NPO法人コミュニティネット山陰 | 米子市 | 2月24日（木）米子 |
| | 保健・医療・福祉 | NPO法人発達障がい児親の会CHERRY | 米子市 | 2月24日（木）米子 |
| | 保健・医療・福祉 | NPO法人淀江作業所 | 大山町 | 2月24日（木）米子 |
| | 保健・医療・福祉 | NPO法人ワークショップ・アクティブ | 米子市 | 2月24日（木）米子 |
| | 子どもの健全育成 | NPO法人おやさサポート小窓 | 米子市 | 2月24日（木）米子 |

カ あいおいニッセイ同和損保助成プログラム

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社鳥取支店との協働事業

同社の役職員による寄付金（任意の募金制度「MS&ADゆにぞんスマイルクラブ」）と会社からの同額寄付を加えた鳥取県独自の助成プログラムとして実施し、県内のNPO等に助成した。

- ・助成上限額 5万円/件 ・助成対象 NPO等
- ・募集時期 12月20日（月）～1月21日（金） ・審査会 2月14日（月）倉吉未来中心
- ・寄付金贈呈式 3月2日（水）県民ふれあい会館 参加5団体6名 1団体欠席
- ・申請14団体 採択6団体 助成額5万円×6団体＝30万円

| 区分 | 採択団体 |
|----|------------------------|
| 東部 | NPO法人万葉のふるさと国府創生会（鳥取市） |
| | 久松橋ガーデンクラブ（鳥取市） |
| 西部 | NPO法人西部ろうあ仲間サロン会（米子市） |
| | NPO法人サポートイルカ（米子市） |
| | NPO法人コーカラ健康塾（米子市） |
| | NPO法人いるか（米子市） |

キ とりぎん青い鳥基金

鳥取銀行との協働事業として、SDGs（教育活動、まちづくり活動）に関わる活動を支援した。

<上期>

- ・募集期間 4月1日（水）～7月30日（金） ・審査会 9月7日（火）鳥取銀行本店
- ・申請23団体 採択6団体 助成総額 1,000,000円
- ・寄付金贈呈式 採択団体事務所等において実施

| 区分 | テーマ | 採択団体 | 所在地 | 寄贈式 |
|----|-------|------------------------|-----|-------------------|
| 東部 | まちづくり | 和風クラブ | 鳥取市 | 10月8日（金）豊実地区公民館 |
| | 教育 | おもちゃDr.鳥取 | 鳥取市 | 10月8日（金）さざんか会館 |
| | 教育 | クレーク記念国際高等学校連携校鳥取キャンパス | 鳥取市 | 10月8日（金）同校鳥取キャンパス |
| | 教育 | NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん | 鳥取市 | 10月12日（火）同園舎 |
| 中部 | まちづくり | 〇〇不動産プロジェクト | 倉吉市 | 10月15日（金）パールタウン |

| | | | | |
|----|-------|--------------------|-----|-----------------|
| 西部 | まちづくり | 環境・スキルを活かしたまちづくりの会 | 大山町 | 10月15日(金) 団体事務所 |
|----|-------|--------------------|-----|-----------------|

<下期>

- ・募集期間 10月1日(金)～1月31日(月) ・審査会 3月2日(水) 鳥取銀行本店
- ・申請22団体 採択5団体 助成総額1,000,000円
- ・寄付金贈呈式 採択団体事務所等において実施

| 区分 | テーマ | 採択団体 | 所在地 | 寄贈式 |
|----|-------|----------------------------|-----|---------------|
| 東部 | 教育 | Frontier School | 八頭町 | 3月23日(水) 八頭町内 |
| | 教育 | M&F(mother&father) support | 鳥取市 | 3月25日(金) 鳥取市内 |
| 中部 | 教育 | 自然がっこう旅をする木 | 倉吉市 | 3月29日(火) 倉吉市内 |
| 西部 | まちづくり | NPO法人保育サポータークローバーキッズ | 米子市 | 3月22日(火) 米子市内 |
| | まちづくり | きさらぎ・さんびる共同企業体 | 境港市 | 3月24日(木) 境港市 |

ク 中国5県休眠預金等活用コンソーシアム事業 [代表・事務局：NPO法人ひろしまNPOセンター]

休眠預金等を活用し、中国5県の中間支援組織が連携して「資金分配団体」を担うとともに、県内においてSDGsの理念に基づく中国地方全体に共通する課題の解決にむけた助成及び伴走支援等の取組を行った。

<令和2年度、資金分配団体に採択された事業>

①新型コロナウイルス対応緊急支援助成「中国5県新型コロナ対応緊急支援助成」

- ・採択7団体 実施5団体 鳥取県の助成金総額：1,150万円(令和2～3年度)

| 区分 | テーマ | 申請団体 | 所在地 |
|----|--------------|------------------------------|------|
| 東部 | 子ども・若者・家庭支援 | NPO法人智頭の森こそだち舎 | 智頭町 |
| | 地域コミュニティ支援 | NPO法人トラベルフレンズ・とっとり | 鳥取市 |
| 中部 | 子ども・若者・家庭支援 | NPO法人こども未来ネットワーク | 倉吉市 |
| 西部 | 障がい者就労・居場所支援 | NPO法人大地 | 日吉津村 |
| | 高齢者の生活・居場所支援 | NPO法人ひだまり | 米子市 |
| | 高齢者の生活・居場所支援 | N. K. C ナーシングコア・コーポレーション合同会社 | 米子市 |
| | 地域コミュニティ支援 | 大山移住交流サテライトセンター | 大山町 |

②2020年度通常枠「中国5県休眠預金等活用事業2020」

- ・採択2団体 実施1団体 鳥取県の助成金総額：8,925,000円(令和3～5年度)

| 区分 | テーマ | 申請団体 | 所在地 |
|----|------------|------------------|-----|
| 西部 | 困難を有する者の支援 | NPO法人西部ろうあ仲間サロン会 | 米子市 |

NPO法人ひまわり倶楽部(米子市) 内定辞退

[県内の実行団体公募・選定の取組] 1団体の辞退により、再募集

- ・募集期間 11月9日(火)～12月10日(金)
- ・テーマ 生きづらさを抱える子ども・若者、又は生活上の困難を抱える人が、安心・安全に暮らすことができる環境づくり
- ・資金的支援 [助成支援] 1団体あたり8,925,000円(令和4年3月頃～令和6年1月(最長))
- 非資金的支援 [伴走支援] ①組織の持続性、ガバナンス強化 [組織診断、規程類整備] 支援
(月1回以上) ②ロジックモデルによる事業計画(ToC)、資金計画作成支援と進捗管理
③社会的インパクト評価による評価計画作成支援と進捗管理

・オンライン説明会

1月15日（月）参加のべ8名（うち申請検討団体8団体8名）

- ・メール・電話等による各種相談対応：3団体6名（36回）
- ・審査会 1月21日（金）申請3団体
- ・採択（内定）1団体 実施1団体 鳥取県の助成金総額：8,925,000円（令和3～5年度）

| 区分 | テーマ | 申請団体 | 所在地 |
|----|------------|-----------|-----|
| 中部 | 困難を有する者の支援 | ピアサポートつむぎ | 倉吉市 |

<令和3年度、資金分配団体に採択された事業>

①2021年度通常枠「中国5県休眠預金等活用事業2021」

- ・申請：7月27日（金） 採択公開：9月17日（金）
- ・内定：10月6日（火） 鳥取県分の助成総額：2,000万円（令和3～6年度の3年間）
- ・決定・契約：1月1日（金）

[県内の実行団体公募・選定の取組]

- ・募集期間 1月10日（月）～2月18日（金） ・実施期間：契約締結から3年以内
- ・テーマ 人口減少や高齢化に伴う働き手や地域の担い手の減少等、地域が抱える様々な課題を、分野・組織横断的な取組で解決し、持続可能なコミュニティ形成を図る。
- ・資金的支援 [助成支援] 1団体あたり10,000,000円～20,000,000円（令和4年4月頃～令和7年2月（最長））
- 非資金的支援 [伴走支援] ①組織の持続性、ガバナンス強化 [組織診断、規程類整備] 支援（月1回以上） ②ロジックモデルによる事業計画（T o C）、資金計画作成支援と進捗管理 ③社会的インパクト評価による評価計画作成支援と進捗管理
- ・オンライン公募説明会 1月12日（水） 参加23名（うち申請検討団体10団体12名）
- ・個別相談会（2日間）参加：3団体6名 ※うち2団体が2回参加
1月24日（月）、2月7日（月）
- ・メール・電話等による各種相談対応：3団体3名（11回）
- ・審査会 3月14日（月）申請3団体
- ・採択（内定）1団体 鳥取県の助成金総額：20,000,000円（令和4～6年度）

| 区分 | テーマ | 申請団体 | 所在地 |
|----|------------------------|-----------|-----|
| 東部 | 安心・安全に暮らせるコミュニティづくりの支援 | 鳥取藝住実行委員会 | 鳥取市 |

(4) 社会人・若者ボランティア（プロボノ）推進事業

○支援を希望する県内のNPO等と、自らのスキルや経験を活かして社会貢献活動を行いたい社会人・若者をマッチングし、プロジェクトを実施した。

ア プロボノ説明会及び育成研修

プロボノ支援を受けたいNPO等及びプロボノワーカー希望者向けの説明会及びプロボノワーカーの育成研修を実施した。

- ・受入団体の募集 4月26日（月）～5月24日（月）→ 延長 6月7日（月）
- 審査会 6月17日（木）オンライン
申請2団体（中部1、西部1） 採択2団体（中部1、西部1）
- ・説明会 オンライン ①5月11日（火）参加7名 ②5月15日（土）参加9名
プロボノワーカー 県内登録者54名、新規登録者9名、プロジェクト新規参加者8名
- ・育成研修 7月22日（木）
講演：「人生100年時代における社会参加ことはじめ」

イ プロボノプロジェクト実施

県内外の社会人・若者が自らのスキルを活かして県内のNPO等を支援する、ボランティア（プロボノ）プロジェクトを実施中。

- ・プロジェクト（長期：9～11月、9～12月） 2件

| 区分 | 中部 | 西部 |
|------------------------------|--|--|
| 採択団体 | 青少年育成団体ポレポレキッズ☆ (湯梨浜町) | 子ども食堂ネバーランド (米子市) |
| 支援内容 | 「20周年の今、これからの活動をみんなで すすめるビジョンづくりに向けた意見交換 (ワークショップ)の実施と整理」 | 「子ども食堂「ネバーランド」の事業を整理 し、来年度の事業計画の基となる現状把握、 実現仮説の提案(事業計画立案)」 |
| ワーカー | 4名 | 5名+大学生1名 |
| キックオフ ミーティン グ・現場見 学 | 9月26日(日) 5名 (鳥取市、オンライン) | 9月12日(日) 9名 (米子市、オンライン) |
| 個別ヒアリ ング・現場 見学 | 10月17日(日)～10月31日(日) | 10月1日(金)～10月9日(土) |
| 現状分析・方針提案・制作作業等 10月～11月 | | |
| 最終提案 | 1月23日(日) | 12月4日(土) |
| 成果報告会 | 3月12日(土) オンライン開催 参加者：26名 説 明：とっとりプロボノについて 活動報告：青少年育成団体ポレポレキッズ☆、プロボノチーム 子ども食堂ネバーランド、プロボノチーム ※47コロナ基金とっとりつながるプロジェクトと同時開催 | |

(5) 地域づくり活動体験機会提供事業

- 高校生や大学生等の若者をはじめ、県内外の多くの人に県内の地域づくり活動へ興味をもってもらおうきっかけづくりを行った。
- 夏休み期間を中心に、NPO等地域づくり団体でのボランティア体験の機会を提供することで、若者をはじめ県内外からボランティア活動に参加したい人の地域づくり活動への参加を促進した。
- 大学等の協力を得ながら、若者向け地域課題解決ワークショップ（出前講座）を開催した。

ア 夏のボランティア体験

- ・受入団体募集期間：3月5日(金)～3月26日(金) ※県内高校に募集案内送付
- ・ボランティア募集期間：4月30日(金)～5月28日(金) 受入期間：7月14日(水)～9月30日(木)
※昨年度の申込人数を上回る申し込みがあったが、7月下旬からの第5波の新型コロナウイルス感染拡大により、中止した団体、参加を見合わせた申込者が増えた。

<申込・参加状況>

| 区 分 | 合計 | 東部 | 中部 | 西部 | 県外 |
|---------------|------|-----|----|-----|----|
| 当初の申込人数 | 150名 | 98名 | 6名 | 46名 | 0名 |
| 調整後の申込人数 | 144名 | 95名 | 4名 | 45名 | 0名 |
| 実際の参加人数(延べ人数) | 74名 | 66名 | 8名 | 0名 | 0名 |

※当初の申込人数の内訳：高校生150名（鳥取東、鳥取城北、鳥取湖陵、八頭、青谷、倉吉総合産業、倉吉北、米子西、米子松蔭、米子北斗、境港総合技術）

- ・受入団体 実施6団体（中止10団体） 受入人数：3人程度/団体

| 地域 | 受入団体 | |
|----|-------------|---|
| 東部 | [実施] 5団体 | NPO法人つぼみ畑（鳥取市）、NPO法人鳥の劇場（鳥取市）、NPO法人鳥取・森のようちえん・風りんりん（鳥取市）、災害支援ネットワークNPOかけはし（鳥取市） 冒険あそび場IWAMI（鳥取市・一部日程で中止） |
| | [中止] 2団体 | イラストレーター毛利彰の会（鳥取市）、NPO法人八東川清流クラブ（八頭町） |
| 中部 | [実施] 1団体 | NPO法人子ども未来ネットワーク（倉吉市） |
| | [中止] 3団体 | 夢現の風（琴浦町）、海の駅とまり協議会（湯梨浜町）、倉吉打吹まつり実行委員会（倉吉市） |
| 西部 | [中止] 5団体 | NPO法人西部ろうあ仲間サロン会（米子市）、NPO法人米子ボート協会（米子市）、 NPO法人保育サポータークローバーキッズ、やらいや逢坂 育てらい屋 子ども食堂 おうさか（大山町）、楽笑本舗（米子市） |

- ・受入団体へのアンケート実施 10月15日（金）～22日（金）
- ・参加者へのアンケート実施 10月25日（月）～11月8日（月）

イ 若者向け地域課題ワークショップ（出前講座）の開催

- ・オンライン「若者地域づくり活動補助事業報告会」6月8日（火） 参加者：48名
報告団体：鳥取城北高等学校アントレプレナー部、7-R（鳥取西高等学校）
TORICEF、学生団体Skip Class（青翔開智中学校・高等学校他）

*県と共催企画：オンライン「若者×地域づくり活動団体交流会」
第1回：7月10日（土） 第2回：8月21日（土）

- ・公立鳥取環境大学（特別演習B）でNPOやボランティアの実態を現地で学ぶ実習として開催
代表教員：倉持裕彌 受講者：6名⇒5名（1名欠席）
9月9日（木）10：30～12：00 オリエンテーション①@環境大学
9月12日（日）～14日（火）フィールドワーク②・③実施
受け入れ先：認定NPO法人ハーモニカレッジ、とっとり震災支援連絡協議会、
Tottori Mama's)
9月16日（木）14：40～16：10 振り返り④@環境大学
- ・公立鳥取環境大学「NPO・コミュニティビジネス論」倉持裕彌講義ゲスト参加 12月1日（水）毛利

(6) 地域づくり活動のサポート

○自治会や地域づくり団体等が開催する出前講座や研修会等に対する計画立案のアドバイスや講師としての出講、実行委員会や審査会への参画など、センター職員が幅広く地域づくりの支援活動に携わった。

- ・出前講座や研修会等の計画立案へのアドバイス等 18回
- ・講師 13回
- ・実行委員会、審査会 24回
- ・その他 5回
 - ・高千穂を考える会（高千穂自治会）
5月16日（日）北栄町集落改善センター 参加20名
高千穂地区の住民向けアンケートの結果報告会 アドバイザー
 - ・三朝町地域協議会連絡会
5月27日（木）三朝町総合文化ホール 参加24名
三朝町地域協議会連絡会 オブザーバー

・北栄町女性団体連絡協議会

1月20日(水) 大栄農村環境改善センター大会議室 参加40名
SDGs勉強会と意見交換会 アドバイザー、司会

・琴浦まちネットフォーラム

3月20日(日) まなびタウンとうはく 参加50名
民間と行政の役割分担とまちづくり アドバイザー

・住民主体の共助交通のネットワーク

12月22日(金) 第1回交流会&立ち上げ会 オンライン
参加団体 7団体

NPO法人さじ未来(鳥取市佐治地区)、NPO法人たかしろ(倉吉市高城地区)、おがもカーシェアリング倶楽部(倉吉市小鴨地区)、永江ささえ愛カーシェアクラブ(米子市永江地区)、大山カーシェアリング会(大山町大山地区)、のってこや(大山町逢坂地区)、徳万たすけあいトクトク会(琴浦町)
*会の名称: 外出支援井戸端会議(通称:「ソトバタ」)

3. ネットワークを活用した地域づくり活動の支援【団体の活動を拡げる】

(1) ボランティア支援ネットワーク事業

○NPO等同士がお互いを知り、ともに支え合う連携・協働のネットワークの形成、及び地域課題解決に取り組む支援体制構築のきっかけづくりとするため、NPO等とのネットワーク会議等を開催した

○県内のボランティア活動を支援する団体・機関(鳥取県社会福祉協議会等)と、必要な情報を共有し連携を図った。

ア (市町村) ネットワーク会議・交流会 6以上の市町村と連携して6回以上開催

| 区分 | 開催地 | 開催日・会場 | 内容等 |
|----|--------------------------------|----------------------------|--|
| 東部 | 八頭町 | 2月25日(金) オンライン | Frontier Schoolの概要説明と意見交換 参加 4団体 13名 |
| | 鳥取市 | 3月6日(日) オンライン | クロスロードゲームワークショップ in Tottori/SDGs 参加 4団体 13名 |
| 中部 | 1市4町 (倉吉市、三朝町、湯梨浜町、北栄町、琴浦町) | 2月26日(土) 倉吉未来中心セミナールーム | 県中部コロナで止まるな!地域づくり団体活動報告会&交流会 参加 8団体 26名 |
| | 湯梨浜町 | 1月20日(木) ハワイアロハホール | 私たちが取り組めるSDGs～日常の暮らしとSDGs～ 参加 3団体 12名 |
| | 北栄町 | 11月20日(土) 大栄農村環境改善センター | 私たちが取り組めるSDGs～日常の暮らしとSDGs～ 参加 7団体 40名 |
| | 倉吉市 | 3月18日(金) 倉吉市はばたき人権文センター | 地域に必要とされる団体とは? 参加 5団体 12名 |
| 西部 | 伯耆町 | 1月21日(金) コロナ対応のため中止 | オンラインでつながる体験会 |

| | | | |
|--|-----|----------------------------|--------------|
| | 境港市 | 2月19日(土) コロナ対応のため 中止 | 未来をつなぐSDGs講座 |
|--|-----|----------------------------|--------------|

イ ボランティア活動の情報共有・連携

- ・ 県民のボランティア活動を支援する団体・機関を訪問し、必要な情報を共有し、連携を図った。
延べ22回
鳥取県社会福祉協議会、鳥取市社会福祉協議会鳥取市ボランティア・市民活動センター
米子市社会福祉協議会、倉吉市社会福祉協議会、境港市社会福祉協議会、鳥取大学地域価値創造教育研究
機構(鳥取市)、公立鳥取環境大学(鳥取市)、鳥取看護大学(倉吉市)、鳥取短期大学(倉吉市)、倉吉市
教育委員会(倉吉市)、倉吉総合産業高校(倉吉市)、NPO法人学生人材バンク(鳥取市)、米子工業高等
専門学校(米子市)、鳥取東高等学校(鳥取市)、米子北斗高等学校(米子市)、境港総合技術高等学校(境
港市)鳥取城北高等学校(鳥取市)、鳥取県教育委員会(鳥取市)、鳥取県立生涯学習センター(鳥取市)、
Let's Go!北栄ツアー実行委員会(北栄町)、鳥取中央育英高等学校(北栄町)、三朝町社会福祉協議会(三
朝町)
- ・ 社会福祉協議会との連携 上記、社会福祉協議会への訪問 6回(1県4市1町)
鳥取県社会福祉協議会…各種委員会、理事会への参加、夏のボランティア体験事業の共同募集
「災害ボランティア活動関係機関連絡会」の構成員として参加
市町村社会福祉協議会(鳥取市、米子市、倉吉市、三朝町、境港市)…情報共有、個別協議
- ・ 高校、大学等との連携 上記、高校・大学への訪問 4回(高校2、大学2)
とっとりSDGs推進補助金(若者活動支援型)夏のボランティア体験事業、若者向け地域課題ワークシ
ョップ(出前講座)等の打合せ、連携

(2) 持続可能な地域づくり促進事業

○県と連携し、持続可能な地域社会の実現を目指し、SDGsの普及啓発を図った。若者、企業、NPO等、多様な主体の参画を得て、地域の課題解決及び新たな価値創出にむけた意見交換を実施した。具体的には、SDGs推進のプラットフォームを広げ、解決すべき課題やテーマを設定して、民間主体のプロジェクトチームを立ち上げ、その実践を伴走した。

ア 「とっとりSDGsプラットフォーム」の運営・拡大[事務局]

- ・ 行動を促す登録の推進 登録目標 100件(個人・団体) 現在107件
- ・ SNS、オンラインツール等を活用した情報共有、情報収集・発信
- ・ 事務局：センター

鳥取県内の市民、NPO、企業、行政、大学・学校など、多様な主体が行うSDGs(持続可能な開発目標)の取組を共有・発信し、分野、組織、セクターを超えた連携・協働による持続可能な地域づくりの推進を目的とする「ゆるやかな参加型のプラットフォーム」

登録団体 107

| 企業等 | NPO等 | 教育機関 | 自治体、公的機関 | 個人 | 計 |
|-----|------|------|----------|----|-----|
| 27 | 56 | 4 | 4 | 16 | 107 |

イ SDGs推進のプロジェクト形成及び意見交換会・交流会等の開催

- ・ 地域課題の解決、持続可能な地域づくり等、SDGs推進のプロジェクト形成
- ・ 新型コロナウイルス感染対応とウィズコロナ時代の活動に関する情報共有
- ・ SDGsに関わる研修会、意見交換会・交流会等の開催

上記プロジェクト等をテーマにした意見交換会 東・中・西部で各1～2回程度
 CSRマッチングセミナー（7月）、グローバル・ゴールズ・ウィークと連動した鳥取発行動期間「とっとりSDGsシーズン（11～12月）、全国寄付月間（12月）等と連携して実施した。

①「とっとりSDGsプラットフォーム意見交換会」

- 第1回 7月29日（木）オンライン 参加：9名
 事例報告：BREMEN（米子市）、鳥取県自然体験塾（岩美町）
 意見交換：みんなが困った時にできることを出し合う（災害支援等）
- 第2回 9月27日（月）オンライン 参加：18名
 話題提供：「子ども・子育ての課題を考える」「災害時に助け合えることを見える化する」
 意見交換：のテーマに分かれて意見交換（子ども・子育て、災害支援）
 ※「CSRマッチングセミナー」と同時開催
- 第3回 1月30日（日）オンライン 参加：22名
 全体会：SDGsの視点での現状と課題
 事例報告
 ①子ども・子育て：鳥取シングルマザーシングルファーザー交流会「雨のち晴れ」
 NPO法人こども未来ネットワーク
 ②（多様な主体による）地域コミュニティ：難民支援団体ピースバード
 イトナミダイセン
 ③なりわい：梅津酒造、美染
- 第4回 3月12日（土）オンライン 参加：24名
 コーディネーター：直島克樹氏（川崎医療福祉大学医療福祉学科講師）
 活動報告：認定NPO法人ハーモニカレッジ、子どもの人権広場
 意見交換・ワークショップ：コロナ禍における子ども子育て実態調査から見えてきた課題に対する解決策の提案

②プロジェクト形成

- ・子ども・子育て……… 47コロナ基金つながるプロジェクトと連携して実施中
- ・災害支援（準備中）… NPO法人全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
 「企業の被災者支援への参画に関する調査プロジェクト協働調査」への協力
 ヒアリング：県危機管理政策課、株式会社skyer、株式会社エスマート

③SDGsに関する講師参加、研修・会議への参加等 12件

| 日時 | 会場 | 参加者 | 会議・役割 |
|-----------|--------------------|-----|--|
| 4月10日（土） | オンライン | 毛利 | 境港青年会議所 講演講師 |
| 4月25日（日） | オンライン | 毛利 | 中国5県中間支援組織連絡協議会 中間支援組織・支援センター役職員向け合同研修2021 SDGs登壇者 |
| 5月19日（水） | 今井書店境港店 | 毛利 | 境港市倫理法人会 講演講師 |
| 7月6日（火） | 成徳コミュニティセンター | 毛利 | 倉吉市コミュニティセンター館長会 講演講師 |
| 9月16日（木） | 倉吉商工会議所 | 毛利 | 倉吉異業種交流プラザ 講演講師 |
| 9月25日（土） | 上小鴨コミュニティセンター | 毛利 | 上小鴨地域づくり協議会 講演講師 |
| 9月29日（水） | 倉吉市役所 | 毛利 | 倉吉市SDGs推進本部第1回ワーキンググループ会議 講演講師及びアドバイザー参加 |
| 11月17日（水） | 古民家カフェてまり （南部町） | 毛利 | 県SDGsシーズントークセッション2「環境×社会」対談収録 |

| | | | |
|-----------|----------|----|---------------------------------------|
| 11月19日(金) | 豊実地区公民館 | 毛利 | 鳥取市地区公民館長(豊実地区周辺)ブロック研修会 講演講師 |
| 12月23日(木) | 倉吉市役所 | 毛利 | 倉吉市SDGs推進本部第3回ワーキンググループ会議 アドバイザー参加 |
| 3月13日(日) | 倉吉体育文化会館 | 毛利 | 鳥取県中部ろうあ協会 講演講師 |
| 3月15日(火) | 倉吉市役所 | 毛利 | 倉吉市SDGs推進本部第4回ワーキンググループ会議 アドバイザー参加 |

④とっとりSDGsシーズン

SDGs 特別対談「南部町の人と自然のつながりによる生態系保存の取り組み」
 出演 自然観察指導員・もりまきフィールドネットワーク 桐原 真希
 公益財団法人とっとり県民活動活性化センター 理事長 毛利 葉

ウ とっとりSDGsパートナー制度の推進【県新時代・SDGs推進課委託事業】

県と連携し、SDGsに取り組む個人・団体を対象に、SDGsパートナーとして参画を促し、SDGsの認知度向上と取組の「見える化」によるSDGsゴール達成に向けた活動の活性化を図った。

- ・パートナー制度に係る募集・広報、申込受付・登録手続及び登録者の管理・活動状況の把握
 パートナー目標 令和6年までに500件 登録数 452件
- ※「鳥取県令和新时代創生戦略」の令和6年度目標(5年間)300件→500件に変更
- ・県がすすめるとっとりSDGsネットワーク及び認証制度創設の事務局への参加

登録団体 452

| 企業 | NPO等 | 教育機関 | 個人 | 計 |
|-----|------|------|----|-----|
| 386 | 40 | 8 | 18 | 452 |

エ 「とっとりSDGs伝道師」制度の運営【県新時代・SDGs推進課委託事業】

SDGsの普及啓発の核となる人財として県が選定・任命する「とっとりSDGs伝道師」の登録・講習の実施及びSDGs研修会等への派遣(出講)に関する業務を行った。

- ・登録、講習の実施
 7月7日(水) オンラインにて開催 参加:6名
 2月24日(木) オンラインにて開催 参加:3名(2月3日任命)
- ・派遣(出講)に関する調整、旅費の支給
 申請 35件、実施 22件、派遣予定 1件、取り下げ 12件

4. 相談体制整備・情報発信事業

(1) とっとり創生支援センター事業

○東部・西部に支部を設置し、東・中・西部の県振興課と協働して、圏域内の相談対応、団体間のネットワーク構築支援等を行った。また、必要に応じて出張による相談対応を行った。

- ・設置場所 東部とっとり創生支援センター 県地域づくり推進部東部地域振興事務所内
 西部とっとり創生支援センター 県西部総合事務所地域振興局西部振興課内
 中部とっとり創生支援センター (公財) とっとり県民活動活性化センター内
- ・相談対応 年間目標延べ200件に対して、延べ343件
 (相談員各支援センターに1名、計3名配置し、それぞれ記録簿を作成)

センター全体の相談対応件数

- ・定期協議 月1回 年10回実施 ※8月、2月は新型コロナウイルス感染拡大により中止

(2) 相談対応・出前相談事業

○多様な主体からの相談対応や伴走型個別支援を行うことにより、県民活動の活性化及び、持続可能な活力ある地域社会づくりに寄与した。

○各支援事業にあわせ、又他の支援団体等と連携するなどして、伴走型個別支援及び出前相談会を行った。

- ・相談件数 延べ376件（うち創生支援案件343件）＋震災復興 7件 計383件

<地域別> ※重複あり

| 区分 | 東部 | 中部 | 西部 | 隣接県 | その他県外 |
|------|-------|-------|-------|-----|-------|
| 件数 | 151件 | 119件 | 131件 | 10件 | 9件 |
| ※昨年度 | ※163件 | ※157件 | ※125件 | ※6件 | ※14件 |

(うち「コロナに負けない!地域づくり相談窓口」に関する相談 8件)

| 区分 | 東部 | 中部 | 西部 | 県外 |
|----|----|----|----|----|
| 件数 | 6件 | 2件 | 0件 | 0件 |

(他、SDGsに関する相談 83件)

| 区分 | 東部 | 中部 | 西部 | 県外 |
|----|-----|-----|-----|----|
| 件数 | 29件 | 26件 | 24件 | 5件 |

<分野別> ※重複あり

| | | | | |
|----|------------|----------------|--------|---------|
| 区分 | ①まちづくり | ②子どもの健全育成 | ③子育て支援 | ④障がい者支援 |
| 件数 | 84件 | 54件 | 49件 | 37件 |
| 区分 | ⑤経済活動・産業振興 | ⑥学術・芸術・文化・スポーツ | ⑦高齢者支援 | ⑧中山間支援 |
| 件数 | 25件 | 22件 | 19件 | 15件 |
| 区分 | ⑧社会教育 | ⑩保健・医療 | その他 | |
| 件数 | 14件 | 13件 | 177件 | |

<内容別> ※重複あり

| | | | | |
|----|-------------------|-----------|-------|-------|
| 区分 | ①情報収集・発信 | ②助成金情報・申請 | ③組織運営 | ④講師派遣 |
| 件数 | 69件 | 64件 | 48件 | 37件 |
| 区分 | ⑤団体・プロジェクト 立上げ | ⑥法人設立 | ⑦資金調達 | その他 |
| 件数 | 35件 | 26件 | 24件 | 136件 |

- ・伴走型個別支援 目標10団体に対して、実施16団体（東部2、中部9、西部4、全県1）

主な支援内容：組織基盤強化、資金調達、プロボノ、令和新時代創造補助金若者活動支援型採択団体支援等

| 区分 | 支援団体名 | |
|----|-------|---|
| 全域 | 1 | えんたくに加盟のこども食堂 |
| 東部 | 2 | 鳥取大学（鳥取市）、青翔開智中学校・高等学校（鳥取市） |
| 中部 | 9 | NPO法人こども未来ネットワーク（倉吉市）、MCC（湯梨浜町）、琴浦まちづくりネットワーク（琴浦町）、NPO法人糸（倉吉市）、虹の会（琴浦町）、鳥取短期大学・鳥取看護大学（倉吉市）、ピアサポートつむぎ（倉吉市）、NPO法人花本美雄文化振興会（琴浦町）、青少年育成団体ポレキッズ☆（湯梨浜町） |

| | | |
|----|---|--|
| 西部 | 4 | ホウキっこチリトリおとな (伯耆町)、みちくさ推進会議 (江府町)、子どもの人権広場 (米子市)、子ども食堂“ネバーランド” (米子市) |
|----|---|--|

- ・ **出前相談会の開催** 東・中・西部各3ヶ所×1回=3回 (相談員を配置し、記録簿を作成)
 - ・ 県内各地区に出向いて「出前相談会」を開催。成果目標各地区1回開催に対し、各地区1回、合計3回開催 (事務力セミナーに併催) した。
 - ・ 新型コロナウイルスの感染拡大により、オンラインの活用方法についての相談に応じて、「Z o o m活用体験セミナー」の方法で、「出前相談会」として7回実施した。
 - ・ コロナ禍により、予定していた「とっとり元気フェスでの出前相談会」が中止。

<Z o o m活用体験セミナー>

| 月 日 | 場所及び内容等 | 備考 |
|------------|--|---------|
| 5月11日 (火) | 【東部】 青少年育成県民会議 参加：11名 会場：センター事務所 オンラインツールの紹介をし、Z o o mについての基本的な機能や使い方を説明し、実際に体験してもらった。 | オンライン開催 |
| 6月29日 (火) | 【東部】 鳥取県生活協同組合東部支所 参加：15名 会場：鳥取県生活協同組合東部支所 (鳥取市) オンラインツールの紹介をし、Z o o mについて基本的な機能や使い方を説明し、実際に体験してもらった。第2回の開催に向けて疑問や希望を聞いた。 | |
| 7月2日 (金) | 【東部】 鳥取県生活協同組合東部支所 参加：15名 会場：鳥取県生活協同組合東部支所 (鳥取市) 第1回の開催の際に、伺った疑問や希望を基に、内容を組み立て、Z o o mを体験してもらった。 | |
| 8月22日 (日) | 【西部】 ホウキっこチリトリおとな 参加：4名 会場：岸本公民館 (伯耆町) Z o o mについての基本的な機能や使い方を説明し、実際に体験してもらった。 | オンライン開催 |
| 9月26日 (日) | 【西部】 ホウキっこチリトリおとな 参加：7名 会場：岸本公民館 (伯耆町) Z o o mについての基本的な機能や使い方を説明し、実際に体験してもらった。 | オンライン開催 |
| 10月16日 (土) | 【全県域】 とっとり子どもの居場所ネットワーク”えんたく” 講習会 参加：14名 会場：センター事務所 オンラインツールの紹介をし、Z o o mについての基本的な機能や使い方を説明し、実際に体験してもらった。 | オンライン開催 |
| 2月10日 (木) | 【中部】 傾聴ボランティアあいらす 参加：5名 会場：センター事務所 団体の中心メンバーに対して、Z o o mで出来ることや活用の仕方を説明し、実際に体験してもらった。 | |

(3) 情報集積・発信事業

○情報誌、機関紙を定期的に発行した。

- ・NPO活動、ボランティア活動、地域づくり活動に関する情報を発信する情報誌の企画、発行
情報誌「てとり」 年2回発行 県内外の活動団体、行政、公共施設等400ヶ所
第15号 11月29日発行
第16号 2月28日発行
- ・センターが行う講座や研修等の事業の情報を時期に応じて発信する機関紙の企画、発行
機関紙「センターつうしん」 年4回発行 県内全域のNPO等400ヶ所
第27号：7月16日発行 第28号：10月29日発行
第29号：2月3日発行 第30号：3月30日発行

○県民活動に関する情報を、センターのウェブサイト、SNS、県民参画協働課「令和新时代創造県民運動サイト」の登録・発信機能等を活用して、広く県民、NPO等へ発信した。

- ・ウェブサイト 月平均7回以上更新
- ・県民参画協働課「令和新时代創造県民運動サイト」のメール配信機能による情報発信 10回実施

○メディアへの情報提供、新聞掲載等による広報を行い、センター事業の認知を図る。

- ・研修講座、寄付金贈呈式等の開催の際に、県民参画協働課の協力を得て、プレスリリースを発信
- ・新聞広告掲載
日本海新聞 6月30日(水) とりeco最前線
日本海新聞 7月28日(火) とりeco最前線
日本海新聞 8月1日(日) SDGsキャンペーン特集
日本海新聞 8月26日(木) SDGsキャンペーン特集、とりeco最前線
日本海新聞 9月26日(火) とりeco最前線
日本海新聞 10月26日(火) とりeco最前線
日本海新聞 12月27日(月) とりeco最前線

5. 震災復興活動支援センター事業

(1) 鳥取県中部地震生活復興支援事業【県中部振興課委託事業】

○鳥取県中部地震からの復興を図るため、鳥取県社会福祉協議会内に県が設置する「災害福祉支援センター(仮称)」をはじめ、県、市町、関係機関・団体等と連携し、地震の影響により住宅問題を始めとする生活面での課題が未だに解決されていない方々の生活復興を支援し、その取組状況及び進捗状況を調整、把握しながら、状況の改善を図った。

①相談業務、調査業務

- ・鳥取県中部地震の影響により住宅問題を始めとする生活面での課題が未だに解決されていない世帯(以下、「対象世帯」という。)からの相談対応、必要に応じた当該世帯への個別訪問等による調査及び必要な支援を行った。
- ・倉吉市、三朝町、湯梨浜町、琴浦町及び北栄町(以下、「中部市町」という。)及びその他関係機関との連絡調整、対象世帯の把握、課題等の情報共有を行った。
対象世帯 151(倉吉市97、三朝町14、湯梨浜町18、琴浦町1、北栄町21)
※令和2年(昨年)度末との比較では、7世帯(倉吉市3、湯梨浜町1、北栄町3世帯)増加

②生活復興プランの作成

- ・対象世帯の実情に応じた課題解決策(以下、「生活復興プラン」という。)の検討・作成、中部市町及び関

係機関等との連絡調整、および生活復興プランの作成状況の共有を行った。

ケース会議28回（平成30年4月～令和4年1月、倉吉市・三朝町・湯梨浜町・北栄町）

・生活復興プランの作成状況

生活復興支援事業の対象151世帯中、121世帯が「生活復興プラン」を作成

「生活復興プラン」作成121世帯中、支援完了120世帯、支援継続中1世帯

※令和2年（昨年）度末との比較では、作成数6世帯増（支援完了5世帯、支援継続中1世帯）増加

③生活復興支援チーム（専門家等）の派遣

・生活復興プランに基づき、対象世帯へ派遣する専門家等の調整及び専門家等の取り組みの補助を行った。

・生活復興支援チーム派遣後の対象世帯に対するフォローアップを行った。

＜生活復興支援チーム（専門家等）の派遣状況＞220件（平成30年4月1日～令和4年3月10日）

| 専門の別 | 件数 | 専門の別 | 件数 |
|-------------------------|----|------------------------|----|
| 建築技師（鳥取県職員） | 56 | 地域包括支援センター職員（倉吉市） | 3 |
| 瓦工事業、建設業関係者（令和元年4月から開始） | 64 | 民生児童委員 | 4 |
| 専門ボランティア（復興支援隊「縁」） | 46 | 保健師 | 3 |
| ケースワーカー（市町村福祉課職員） | 21 | ファイナンシャル・プランナー（日本FP協会） | 3 |
| 市町村社会福祉協議会職員 | 9 | 宅地建物取引業協会相談員 | 3 |
| 児童相談所（倉吉児童相談所） | 2 | NPO法人（ひきこもり生活支援センター） | 1 |
| 居宅介護支援事業所 | 1 | 人権文化センター（倉吉市） | 1 |
| 県福祉専門職 | 1 | 弁護士（鳥取県弁護士会） | 1 |
| あんしん相談 | 1 | | |

＜「鳥取県震災復興活動特別支援事業補助金」等を活用した被災家屋の修繕支援状況＞ 合計50棟

| 区分 | 修繕の完了 | ブルーシートかけ替え | 調整中 | 調整待ち |
|---------------------------|---------|------------|-----|------|
| 令和3年度事業（2021年4月～2022年3月） | 6世帯（棟） | 0世帯（棟） | 0件 | 0件 |
| 令和2年度事業（2020年4月～2021年3月） | 11世帯（棟） | 0世帯（棟） | 0件 | 0件 |
| 令和元年度事業（2019年4月～2020年3月末） | 33世帯（棟） | 2世帯（棟） | 0件 | 0件 |
| 合計 | 50世帯（棟） | 2世帯（棟） | 0件 | 0件 |

※以上の事業とともに実施するセンターの取組

○事務所スペースの活用の促進 [事務所スペース貸与]

・ボランティア活動、地域づくり活動、NPO活動等県民活動の拠点として、事務所の会議スペースの活用を促した。

利用実績 3件

○講師活動、各種委員会・審査会等への職員の派遣

ア 講師等としての派遣（SDGs推進事業等、すでに記載されているものを除く）

○全体業務とのバランスを考慮しながら、講師活動の向上を図り、推進した。

新型コロナの感染拡大に伴い、地域づくり、ボランティア参加、協働等に関する講演依頼はなかった。

コロナ禍におけるオンラインの活用の研修会を開催、オンライン開催の支援を行った。

| 日時 | 場所 | 参加者 | 会議等・役割 |
|----------|----------|-----|-----------------------------------|
| 5月12日(水) | とりぎん文化会館 | 毛利 | 鳥取県×日本財団共同プロジェクトシンポジウム パネリスト |
| 5月20日(木) | オンライン | 毛利 | トヨタ財団2021年度国内助成募集説明会@中国 地方 登壇者 |

イ 委員会・審査会への派遣

○全体業務のバランスを考慮しながら、必要に応じて就任し、その役割を果たすとともに派遣先団体等と信頼関係を築くように努めた。

①県内外の委員会、審査会等の委員、審査員の就任

派遣数30（理事長及び職員5名）内訳：団体の役員等6 審議会等の委員14 審査会の委員10

- ・鳥取県生活協同組合 有識理事（毛利理事長）
- ・中国5県中間支援組織連絡協議会 代表（毛利理事長）
- ・ひろしまNPOセンター「中国5県休眠預金等コンソーシアム運営委員会」運営委員（毛利理事長）
- ・こくみん共済「こくみん共済coop地域貢献助成事業中国四国審査委員会」委員（毛利理事長）
- ・県民参画協働課「令和新時代創造県民運動推進委員会」委員（毛利理事長）
- ・県新時代・SDGs推進課「公募型プロポーザル審査会」委員（毛利理事長）
- ・県商工政策課「鳥取県ESGプロジェクト支援補助金審査会」委員（毛利理事長）
- ・県民参画協働課「鳥取県×日本財団共同プロジェクトフォーラム実行委員会」委員（監事）（毛利理事長）
- ・倉吉市SDGs推進本部ワーキング・グループアドバイザー（毛利理事長）
- ・鳥取県社会福祉協議会 理事（小林事務局長）
- ・県スポーツ課「ねんりんピック基本構想策定委員会」委員（小林事務局長）
- ・県民参画協働課・鳥取銀行「鳥取県×鳥取銀行 とっとりSDGsアワード」審査委員（小林事務局長）
- ・県民参画協働課・鳥取銀行「鳥取県×鳥取銀行 とっとりSDGsアワード」運営委員会委員（小林事務局長）
- ・関西広域連合公募委員（寺坂次長）
- ・とっとり子どもの居場所ネットワークえんたく 理事（法人）及び運営委員会委員（寺坂次長）
- ・全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会 世話役人（寺坂次長）
- ・鳥取市社会福祉協議会「市民まちづくり提案事業助成金（市民活動促進部門）審査会」委員（寺坂次長）
- ・鳥取市社会福祉協議会「鳥取市ボランティア・市民活動センター運営委員会」委員（寺坂次長）
- ・県食のみやこ推進課「食のみやこ鳥取県づくり支援交付金審査会」委員（寺坂次長）
- ・（一社）非営利組織評価センター「グッドガバナンス認証」評価員（寺坂次長）
- ・県新時代・SDGs推進課「鳥取県SDGs推進モデル創出補助金審査会」委員（椿企画員）
- ・県農地・水保全課「みんなで取り組む農業農村保全活動推進委員会」委員（椿企画員）
- ・県教育委員会事務局「とっとり県民カレッジ講座運営協議会」委員（椿企画員）
- ・「倉吉総合産業高等学校学校運営協議会」委員（椿企画員）
- ・鳥取市協働推進課「鳥取市市民自治推進委員会」委員（椿企画員）
- ・琴浦町企画政策課「琴浦町元気づくり応援事業費補助金審査会」委員（椿企画員）
- ・県産業未来創造課「企業創業促進事業補助金審査会」委員（池淵書記）
- ・鳥取県社会福祉協議会「鳥取県ボランティア・市民活動センター運営委員会」運営委員（池淵書記）
- ・県ふるさと人口政策課「鳥取県ワーケーション拠点整備事業費補助金審査会」委員（谷書記）
- ・鳥取市佐治町総合支所「佐治町生活交通会議」オブザーバー（谷書記）

②会議等への参加

- ・鳥取県コロナに打ち克つ新しい県民生活推進会議（オンライン） 2回 参加：小林

○全国・中国地方及び県域の中間支援組織等との連携、会議等への参加 [ネットワーク構築]

- ・中国5県中間支援組織連絡協議会及び中国5県休眠預金等活用コンソーシアムの構成団体、(一財)地域活性化センター(地域づくり団体全国協議会)の鳥取県の事務局として、また、認定NPO法人日本NPOセンター、NPO法人会計基準協議会、全国NPO事務支援カンファレンス、(一財)非営利組織評価センター、(一社)SDGs市民社会ネットワーク、同ネットワーク地域ユニット、災害時におけるNPO支援センター等の活動相互支援協定等、全国及び中国地方の中間支援組織と連携して、人材育成、調査・提言活動、資金調達・提供、SDGs、災害時支援等の連携・協働の取組を進めるとともに、会議や研修等への参加を通して、全国及び中国地方の支援機関・組織との関係構築を図る。
- ・とっとりの子どもの居場所ネットワーク“えんたく”の理事団体及び賛助会員として参加し、県内におけるこども食堂等、子どもの居場所づくりへの企業の寄付・寄贈、マッチング等の支援を行う。
- ・子どもの貧困対策全国キャラバン
- ・復興支援隊「縁」等の災害ボランティア団体の支援を行うとともに、「とっとりSDGsプラットフォーム」等を基盤に、災害時のNPO等のネットワーク化を進め、「災害時相互協力協定」を結ぶ団体等で構成する「災害ボランティア活動関係機関連絡会」*に参加する。

* 「災害ボランティア活動関係機関連絡会」…平成30年12月に締結した「災害時相互協力協定」を結ぶ団体等で構成。鳥取県社会福祉協議会が主催し、年に2～3回、連絡会議を開催している。

<構成団体> (公社)日本青年会議所中国地区鳥取ブロック協議会、日野ボランティア・ネットワーク、鳥取県生活協同組合、鳥取県社会福祉協議会、鳥取県、センター(以上、「災害時相互協力協定」締結団体)、日本赤十字社鳥取県支部(連絡会スタート時から参加)、ライオンズクラブ国際協会336-B地区(令和2年度から参加)

ア 中国5県中間支援組織連絡協議会 オンライン「スタッフ交流会」の企画・運営

- ・3月7日(月) *企画運営をセンターが行い、オンラインで開催 参加26名(うちセンター10名)

イ 会議等への参加 26回

| 日時 | 場所 | 参加者 | 会議・役割 |
|----------|-------|----------|-----------------------------------|
| 5月25日(水) | オンライン | 毛利 | 第16回中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会 |
| 5月28日(金) | オンライン | 椿 | 地域づくり団体都道府県協議会会長・担当課長会議 |
| 6月4日(金) | オンライン | 毛利 | 認定NPO法人日本NPOセンター通常総会 |
| 6月10日(木) | オンライン | 寺坂 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議 |
| 6月21日(月) | オンライン | 毛利 | 第17回中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会 |
| 6月25日(金) | オンライン | 毛利 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク会員総会 |
| 6月25日(金) | オンライン | 寺坂 | 全国NPO事務支援カンファレンス総会 |
| 6月29日(火) | オンライン | 寺坂 | NPO法人会計基準協議会総会 |
| 7月21日(火) | オンライン | 寺坂 | 全国NPO事務支援カンファレンス世話役人会 |
| 8月6日(金) | オンライン | 椿 | 第18回中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会 |
| 8月12日(木) | オンライン | 毛利 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議 |
| 8月25日(水) | オンライン | 寺坂 | (一財)非営利組織評価センター組織評価制度・事業説明会/情報交換会 |
| 9月9日(木) | オンライン | 毛利 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議 |
| 9月15日(水) | オンライン | 毛利 小林 | 第19回中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会 |

| | | | |
|-----------|-------|----------------|---|
| 9月30日(木) | オンライン | 寺坂 | NPO法人会計基準協議会「受取寄付金の対価性に関する意識調査報告書」読み合わせ会 |
| 10月14日(木) | オンライン | 毛利 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議 |
| 11月9日(火) | オンライン | 毛利 小林 | 第20回中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会 |
| 11月23日(火) | オンライン | 毛利 | 認定NPO法人日本NPOセンター「25周年記念シンポジウム」 |
| 12月9日(木) | オンライン | 毛利 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議 |
| 12月17日(金) | オンライン | 毛利 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク会員ネットワークDAY *株式会社エナテクス(倉吉市)事例報告 |
| 1月13日(木) | オンライン | 毛利 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議 |
| 1月21日(金) | オンライン | 毛利 松林 野口 | 第21回中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会 |
| 2月10日(木) | オンライン | 毛利 上山 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議 |
| 2月25日(金) | オンライン | 毛利 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク「5周年イベント」 |
| 3月10日(木) | オンライン | 毛利 | (一社)SDGs市民社会ネットワーク地域ユニット会議 |
| 3月14日(月) | オンライン | 毛利 中山 野口 | 第22回中国5県休眠預金等活用コンソーシアム運営委員会 |